2015年度
授業要覧

社会情報学部
履修ガイド

青山学院大学

教育方針・理念

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人とに仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力を持つ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

社会情報学部

「カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）」

社会情報学部の教育課程は、青山学院大学としてのカリキュラム･ポリシーを前提とし、青山スタンダード科目と専門教育科目で構成される。

◆カリキュラム体系

本学部のカリキュラムの基本コンセプトは｢人や社会が抱えるテーマを文系、理工系という既成の枠組みを越えた立場から捉えること｣、さらに「人や社会にかかわる問題と情報・数理の役割について理解し、その視点から問題を捉えなおすこと」を実現することにある。

それを実現するために、次のような科目群により構成される。

青山スタンダードの教養教育に加えて｢日本語におけるコミュニケーション｣を重視し、日本語文章作成の訓練、プレゼンテーションの基礎を含む訓練を課す。

分析能力の基礎となる統計を、社会･人間･情報を解明するための数学の基礎を、それらを有効に活用するための基本となる情報科学、コンピュータの基礎を学ぶ。さらに、英語コミュニケーション能力を鍛えるために徹底したトレーニングを行う。

各種専門領域は、これらの基礎科目の上に配置され、組織･心理を中心とした人間領域、経営･経済を中心とした社会領域、および数理を含む情報領域について深く学ぶ。さらに、それらの枠を超えた問題解決能力を身につけるため、演習、卒業研究へと展開される。

特　色

本学部は、数理的素養、論理的思考、コミュニケーション能力および情報の高度な活用の 4 つの力をすべての学生必須のものと位置づけている。さらに、この素養を武器にして既存学問分野である心理･学習、経営･経済および情報・数理のいずれか、あるいは複数の領域に踏み込むことによって、これら既存の分野を俯瞰し、さらに新たな価値の創造を目指す。また、これらを進めるにあたり、より実践的なテーマによる演習を重視し、問題発見・解決に向けたトレーニングを重視した取組を行う。

「ディプロマポリシー（学位授与の方針）」

社会情報学部は、以下の要件を満たす学生に対し、「学士（学術）」を授与する。

1．数理的素養、論理的思考、コミュニケーション能力および情報の活用について、その基礎となる知識･技能を身につけていること。
2．現代社会を取り巻く「人間、社会、情報」が複雑に絡み合った問題について、それらが単一の専門領域だけでなく複数の専門領域からのアプローチが必要であることを理解できること。
3．現代社会を取り巻く「人間、社会、情報」が複雑に絡み合った問題について、その要素となる一つ以上の専門領域について、その基礎を十分理解できること。
4．現代社会を取り巻く「人間、社会、情報」が複雑に絡み合った問題を捉え、その問題解決に向けた取り組みについて、一定の方針を立てることができること。

《総　目　次》

Ⅰ．キリスト教教育について…… 2

Ⅱ．大学での学習活動について…… 3

1. 大学での学習とは（カリキュラム/履修）
2. 単位（単位制/単位とは/単位数/既修得単位の認定/協定校・認定校留学による単位認定）
3. 授業科目の種類と配置（授業科目の種類/履修年次/履修順序）

Ⅲ．履修について…… 6

1. 履修計画（履修計画の立案/履修計画上の注意）
2. 履修登録（履修登録について/履修登録の方法/履修登録の確認と修正/履修取消制度について/履修取消申請方法/青山学院女子短期大学との単位互換制度について）

Ⅳ．学部履修要項
2015年度入学者…… 13

Ⅴ．授業について…… 63

1. 授業（授業時間/授業教室/休講/補講/授業の欠席について）
2. 大学からの伝達
3. 緊急時の「授業の取り扱い」および「伝達手段」について

Ⅵ．試験 ・ レポートについて…… 66

1. 試験の種別（定期試験/平常試験/レポート/追試験）
2. 定期試験の受験（定期試験時間/受験上の注意/不正行為）
3. 追試験（申請資格/申請方法/追試験時間・採点）

Ⅶ．成績評価について（成績評価/G.P.A./成績通知/成績調査）…… 70

Ⅷ．進級および卒業について（進級/卒業/ 9 月卒業/卒業延期制度）…… 72

Ⅸ．学籍について…… 73

（修業年限/在学年限/休学/復学/退学/再入学/二重学籍/除籍/転学部・転学科）

Ⅹ．教職課程（教員免許状 ・ 各種資格）について…… 75

Ⅺ．大学院について…… 82

巻末　教務窓口について

Ⅰ．キリスト教教育について

本学のキリスト教教育

キリスト教の精神のもとに建てられている青山学院は、その「教育方針」にも明記されているように「キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、神の前に真実に生き　真理を謙虚に追求し　愛と奉仕の精神をもって　すべての人と社会とに対する責任を　進んで果たす人間の形成を目的とする」特別な学校です。したがって、その中に設置された青山学院大学においても、キリスト教教育を非常に重視しています。

本学における教育の特徴が他の国公立や私立の大学と異なる最もユニークな点は、このキリスト教による教育方針にあるといえます。

この教育方針をまっとうするために、本学には次の３つの基本的プログラムがあります。

⑴　大学礼拝　　⑵　キリスト教概論　　⑶　宗教センター活動

⑴　大学礼拝

大学では、キリスト教教育の中心に礼拝を位置づけており、時間を定めて礼拝を行っています（礼拝時間：青山･月～金 10時30分～11時 および 火 18時～18時30分、相模原・月～金 10時30分～11時）。大学礼拝は、キリスト教の信仰を土台とする学院の精神を最も具体的に示す場であるとともに、みなさんにキリスト教による人格教育を行う教育の場でもあります。また大学礼拝は教会における礼拝とは異なり、キリスト教信者だけの礼拝ではありません。礼拝出席は自由ですが、青山学院大学の独特な“スピリット”は礼拝においてよく表わされているので、大学礼拝を体験することなしに本学の教育を受けたとは言えないのです。

⑵　キリスト教概論

大学の必修科目の一つとして、「キリスト教概論」があります。この講義は、本学建学の精神であるキリスト教の信仰の内容を学問的に研究し、聖書を通してキリスト教の教義、歴史、神学、実践などの問題を理解するとともに、キリスト教の意義を学ぶことを目的としています。大学礼拝とキリスト教概論とは密接な関係があり、そのため礼拝レポートがキリスト教概論の中に取り入れられています。その他数多くのキリスト教関連科目が青山スタンダード（テーマ別科目）、ソーパー・プログラム科目、各学科科目のなかに配置され、みなさんの知的好奇心にチャレンジしています。

⑶　宗教センター活動

青山学院は、プロテスタント･キリスト教信仰の上に創立された学園であり、宗教センターは、特に、メソジスト教会の創始者、ジョンおよびチャールズ･ウェスレー兄弟の信仰的伝統を重んじ、キリスト教活動を行っています。青山キャンパスは間島記念館１階に、相模原キャンパスはＣ棟（チャペル）１階にそれぞれ宗教センターがあり、学生キリスト教活動の中心になっています。

各宗教センターでは、みなさんのために「聖書に親しむ会」、「キリスト教文化に親しむ会」、青山キリスト教学生会（ACF）、聖歌隊、ハンドベル・クワイア、ゴスペル・クワイアまた、キリスト教図書の閲覧、講演会・コンサートの開催、研修旅行の実施などの活動が行われており、学生生活に色彩とバランスをあたえるために重要な役割を果たしています。さらに、各宗教センターには大学の専任教員でもある宗教主任（牧師）がおり、事務職員と協力して毎日みなさんのために宗教上の指導、アドバイス、教会紹介、カウンセリングなどの責任を負っています。この宗教センター活動は他大学とは異なる本学独特のシステムであり、みなさんの利用を待っています。活動の詳細は「キリスト教活動のしおり」ならびに宗教センターWebサイトを参照してください。

Ⅱ．大学での学習活動について

1．大学での学習とは

カリキュラム

大学の授業科目、単位数、履修年次（どの学年で履修するか）を体系的に編成したものを「カリキュラム（教育課程）」といいます。所属する学部・学科のカリキュラムにそって学習を進め、最終的に、定められたカリキュラムの授業内容を修得することが、大学での学習の目的です。

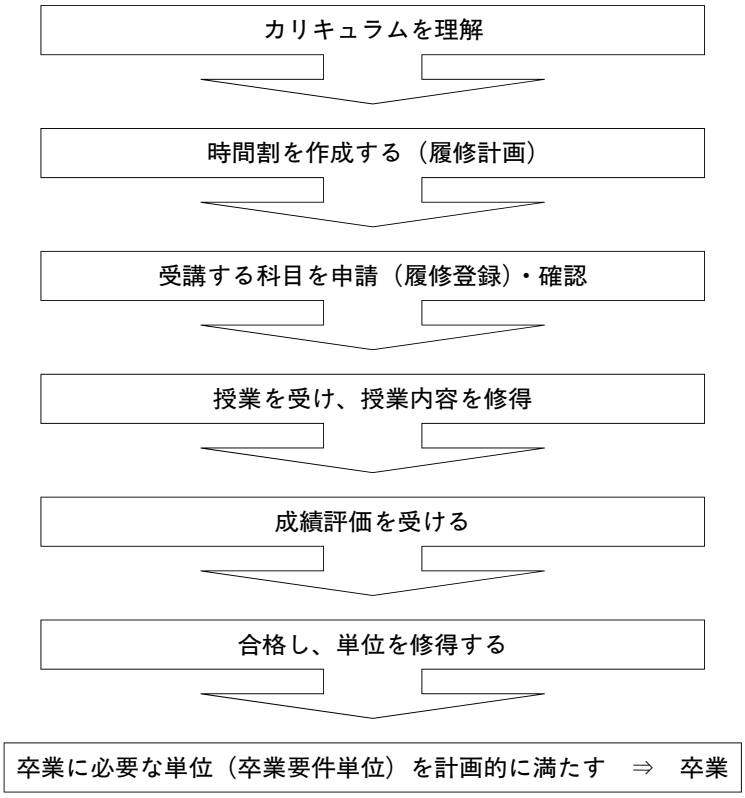
カリキュラムは入学年度別に定められており、卒業まで変更はありません。

各学部・学科のカリキュラムについては、「Ⅳ．学部履修要項」を参照してください。

履　修

各学部・学科のカリキュラムにそって配置された授業科目の受講を大学に申請することを「履修登録」、授業を受け、試験に合格して単位を得ることを「単位を修得する」といいます。この「履修登録」から「単位修得」までの一連の流れを「履修」といいます。

図式化すると以下のようになります。



大学では、カリキュラムで定められた範囲で履修する科目を選択することができますが、卒業に至るまでの過程は自己責任であるということを常に念頭に置いてください。

2．単　位

単位制

単位制とは、卒業するために、在学年限内に所定の単位を修得しなければならない制度です。これは極めて厳格なもので、たとえ１単位であっても不足すると卒業できません。卒業に必要な単位数は、学部･学科ごとに定められています。詳しくは、「Ⅳ．学部履修要項」の「卒業要件」を参照してください。

単位とは

単位とは、学習の成果を量的に表したものです。授業科目を履修し、出席回数、平常試験・定期試験またはレポート、その他担当教員が必要と認める学習作業の結果などによって、その授業科目に合格したと担当教員が判断したとき、所定の単位が与えられます。

単位数

単位数は、それぞれの授業科目ごとに定められており、授業形態によって算定方法が異なります。

大学設置基準による規定	１単位の標準＝“45時間の学修が必要な内容”

本学での単位算定方法

講義・演習の科目では…	１単位＝授業15～30時間分
実験・実習・実技（スポーツなど）の科目・集中科目では…	１単位＝授業30～45時間分

15時間の講義科目（１単位）を例に取ると、“45時間の学修を必要とする内容”で１単位、と規定されており、授業時間外に30時間の自習が前提となっています。

なお、ここでいう“１時間”とは、授業時間45分を表します。本学での１時限の授業は90分で行われているので、単位計算上は、１時限＝“２時間分の授業”となります。

半期の講義科目では、

15週×２時間＝30時間分＝２単位

となります。

実際の単位数

半期科目 （前期のみ、または後期のみの科目）	15週で完結 ・講義科目なら２単位 ・演習科目なら２単位または１単位 ・実験・実習・実技科目なら１単位
通年科目 （一年を通して行われる科目）	30週で完結 ・講義科目なら４単位 ・演習科目なら４単位または２単位 ・実験・実習・実技科目なら２単位

既修得単位の認定

新たに入学した１年生で、本学入学以前に他大学･短期大学ですでに修得した単位があり、修得済み単位として認定を受けたい学生は、指定された期間（**入学式翌日～前期授業開始日**）に書類を所属キャンパスの教務窓口に提出し申請してください。各学部・学科の基準に従って単位が認定されます。既修得単位として認定された単位数と、入学後に交換留学等で認定される単位数は、合わせて60単位を越えないものとします。（大学学則第42条参照）この申請は、入学した年度に限って可能であり、次年度以降に申請することはできません。

編入・転学部・転学科した学生の場合は、それまで修得した単位のうち、各学部・学科が適当と認める科目の単位が認定されますので、指定された期間（入学手続時配付書類に記載）に書類を所属キャンパスの教務窓口に提出し申請してください。

協定校･認定校留学による単位認定

協定校留学・認定校留学の制度によって留学した場合は、帰国後所定の手続きをふむことにより、留学先で修得した単位が各学部・学科の基準に従って認定されます。既修得単位と

して認定された単位数と、入学後に交換留学等で認定される単位数は、合わせて60単位を越えないものとします。(大学学則第42条参照)ただし、教員免許状取得希望者の場合、認定された科目の単位は、教員免許状取得に係る単位として証明されません。

3．授業科目の種類と配置

授業科目の種類

各授業科目は、卒業要件として必ず履修・修得しなければならないか否かによって、以下の３つに区分されます。

授業科目の種類

必修科目	必ず履修し、単位を修得しなければならない科目
選択必修科目	指定されたいくつかの科目の中から選択履修し、各学部・学科所定の単位数を必ず修得しなければならない科目
選択科目	自由に選択履修し、必要単位数を修得する科目

上記の内容でわかるとおり、履修の際には、「必修科目」を優先して卒業要件単位を満たしていく必要があります。

また、授業の開講期間によって、１年を通じて実施する「通年科目」、前期あるいは後期で完結する「半期科目」、夏期･冬期休業期間などを利用して実施する「集中講義科目」に分かれます。

履修年次

「履修年次」とは、それぞれの授業科目を**履修するのが望ましい学年**のことです。履修年次は、４年間の学習を系統的に行えるよう、カリキュラムに基づいて定められています。

履修年次は「Ⅳ．学部履修要項」部分の科目配置表に記載されていますので、それに従って科目を履修してください。

原則として、**現在の学年より上級の年次に配置されている授業科目を履修することはできません**が、現在の学年より下級の年次に配置されている授業科目であれば履修することができます。ただし、例外もありますので、「Ⅳ．学部履修要項」で確認してください。

履修順序

各学部・学科には、段階的に学習を進めるために「履修順序」が設けられた授業科目があります。これは、**ある授業科目の単位を修得しなければ、その上級科目として設けられている授業科目を履修することができない**、というものです。

上級に設けられた授業科目は、初級の授業科目の内容をすでに修得していることを前提とし、その次の段階から授業を始めます。したがって、初級の授業科目と上級の授業科目を同時に履修することはできません。ただし、４年次留年生は、学部・学科によっては履修順序に関係なく履修できる場合もあります。

各学部・学科の履修順序については、「Ⅳ．学部履修要項」に記載されています。

Ⅲ．履修について

１．履修計画

履修計画の立案

大学においては、各学生がカリキュラムにそって履修計画を立て、受講したい科目を選択します。

授業科目には、あらかじめ登録されている「事前登録科目」（必修科目等）があり、学生はそれ以外の時限について履修計画を立てることになります。

履修計画を立てるに当たっては、カリキュラムについてよく理解し、所属学部・学科で定められた必修科目の修得と、進級や卒業に必要な履修規定上の必要条件（進級条件・卒業要件）を満たすことを優先させます。

第一部では、１年間で履修申請できる単位数が決められています。下記の⑴～⑷にそって、履修計画を立ててください。

⑴　年度初めのオリエンテーション期間中に行われる所属学部・学科のガイダンスに出席する。

ガイダンスでは、履修上の注意や授業科目の説明が行われますので、必ず出席して最新の情報を得てください。

⑵　カリキュラムの内容、特徴、意義について知る。

「Ⅳ．学部履修要項」の卒業要件単位表･科目配置表で、各授業科目がどのような分野に属しているかを確認してください。履修順序についても、ここで確認してください。

⑶　各授業科目の講義内容を知る。

Web 版『講義内容』（「学生ポータル」の「講義内容検索」よりアクセス可能）には、各授業の詳しい授業計画などが記載されています。履修しようと思う科目の内容をよく確認してください。具体的な授業内容を知りたい場合は、履修登録期間中に受講してみる、受講時に担当者に確認するなどの方法でも講義内容を確認できます。（履修登録期間終了後は、履修登録をしていない科目を受講することはできません。）

「Ⅳ．学部履修要項」の「履修年次」は履修が望ましい年次を表しています。履修順序などで履修が制限されることがありますので、「Ⅳ．学部履修要項」で必ず確認し、なるべく望ましい年次での履修を心がけてください。

⑷　卒業に必要な科目と単位数、資格に必要な科目と単位数を知る。

卒業要件単位とは、卒業に必要な最低限の単位です。教員免許状および各種資格を取得するためには、これに加えてそれぞれに必要な所定の単位を修得しなければなりません。「Ⅳ．学部履修要項」、「Ｘ．教職課程（教員免許状･各種資格）について」および冊子『教職課程履修の手引』を参照し、各自の目標に合った計画を立ててください。

履修計画上の注意

履修計画に際しては、以下のことに注意してください。

⑴　同一時限に、２科目以上の授業科目を重複して履修登録することはできません。（特に許可された科目を除きます。）

⑵　第一部では各学部・学科で１年間の履修登録単位数の限度（最高履修制限単位）が定められており、その単位数を超えて履修することはできません。
教職課程関連科目および教職課程科目については「Ⅳ．学部履修要項」および冊子『教職課程履修の手引』を参照してください。

⑶　既に単位を修得した科目を、再度履修登録することはできません。（特に許可された科目を除きます。）

⑷　他キャンパスの授業科目を履修する場合、90分間の移動時間が必要です。この移動時間の間に実施されている授業科目の履修はできません。

⑸　他学部科目の履修を希望する場合、「Ⅳ．学部履修要項」の「他学部科目一覧表」を参

照してください。

(6) 第一部の学生が第二部開講科目を履修することはできません。また、第二部の学生が第一部開講科目を履修することはできません。

(7) 履修登録締め切り後、登録に不備や間違いがあったときは、当該科目の登録が無効となります。

(8) 受講者数が著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果などを考慮して、クラスの分割・抽選などの措置を取ることがあります。

2．履修登録

履修登録について

１．履修登録

「履修登録」は、年度初頭に、その年度に履修を希望する授業科目を大学に登録する、大変重要な手続きです。（集中講義科目、後期に開講される科目も年度初頭に履修登録を行います。）一科目でも登録もれや登録間違いがあってはなりません。『履修登録システム利用案内』をよく読み、各自の責任において、履修登録期間内に履修登録を完了してください。履修登録期間は「学生ポータル」で確認してください。

制限科目の応募締切日時は、個々の科目により異なりますので、注意してください。

２．後期履修変更

後期に履修変更期間を設けます。前期科目の成績を確認したうえで再度履修を見直し、必要がある場合は Web 履修登録システムを使用して各自で履修の変更を行ってください。履修変更期間以降の修正は、一切認めません。後期履修変更期間は、「学生ポータル」で確認してください。

後期の履修変更に際しては、次の５点に注意してください。

(1) 履修制限単位内で、後期科目のみの修正を行うことができます。

(2) 受講者を制限する科目（抽選・制限カード・受講許可等）に関わる変更はできません。

(3) 通年科目を削除しなければならない変更はできません。

(4) 前期に修得できなかった科目と同一名称科目の再履修はできません。

(5) (2)～(4)の制限にかかわらず、学部学科等から特に指定があった場合は、それに従ってください。

後期履修変更期間中に追加できる単位数は次のとおりです。（第一部学生のみ）

後期履修変更期間に追加できる単位数（後期科目のみ）＝当該年度の最高履修制限単位－（前期修得単位数＋前期に修得できなかった単位数＋履修取消科目の単位数＋通年科目の単位数）

履修登録の方法

本学の履修登録は、基本的には Web 上のシステム「Web 履修登録システム」（パソコンまたは学内情報端末を使用）で行います。詳細については、冊子『履修登録システム利用案内』を参照してください。

履修登録方法は次のとおりです。

【登録番号と履修登録方法】

『授業時間割表』の登録番号表示	履修登録方法
数字 5 桁で表示されている	Web 履修登録システムを利用して、自分で登録できます。履修登録期間内であれば、自分で削除することもできます。
＋＋＋＋＋	Web で抽選または選考を行う科目です。Web 履修登録システムの「制限科目申請」から応募してください。抽選・選考の結果、履修登録された科目は、削除することはできません。曜日時限等に間違いのないよう、注意して応募してください。また、受付期間が科目によって異なりますので、注意してください。
＊＊＊＊＊	Web 以外で抽選または選考を行う科目です。所定の日時・場所（オリエンテーション期間中や初回授業等）で申請してください。申請方法については、『学年初頭行事』や『講義内容』、学部・学科等の指示に従ってください。抽選・選考の結果、履修登録された科目は、削除することはできません。
＃＃＃＃＃	事前に登録済または履修登録期間中に大学側で登録を行う科目です。自分で履修登録する必要はありません。
－－－－－	受講が許可された学生のみ登録できます。学部学科等の指示に従ってください。

【ペア科目】

ペア科目とは、同一授業科目で、週 2 回以上授業を行う科目です。『授業時間割表』には「ペア」と記載されています。『授業時間割表』に記載されている登録番号で登録してください。対応するほかの曜日・時限も自動的に登録されます。

【集中講義科目】

集中講義科目とは、曜日･時間にかかわらず、一定の期間に集中して授業を行う科目です。『授業時間割表』の各学部・学科注意事項を確認のうえ登録してください。

【「健康・スポーツ演習」・「スポーツ運動実習」】

『学年初頭行事』を参照のうえ、これらの科目に関するガイダンスに出席してください。

履修登録の確認と修正

履修登録最終日は、アクセスが多く、登録に時間がかかります。「混みあってアクセスできなかった」という理由は認められませんので、余裕をもって履修登録が完了するようにしてください。

エラーが表示されたら、適切に対処してください。自分で解決できない場合は、所属キャンパス教務窓口で相談してください。

登録や修正を行った後は、必ず「履修登録画面」で履修登録リストを印刷して誤りがないか確認してください。印刷した履修登録リストは、年度末まで保管してください。確認を怠ったために生じた問題について、大学側は一切責任を負いません。

履修登録を行ったつもりで登録されていなかった科目や、誤って登録してしまった科目については、間違えたまま授業に出席し試験を受けても単位を修得することができないばかりでなく、登録していない科目の試験を受けることは不正行為とみなされ、処分の対象となり

ます（『試験における不正行為者処分規則施行細則』第２条参照）ので注意してください。
期日までに履修登録をしない場合は、修学の意志がないものとして、大学学則第34条に基づき除籍処分となります。

履修取消制度について

授業の内容が勉強したいものと異なっていた場合、履修登録（または後期履修変更）期間終了後の一定期間内であれば履修を取りやめることができます。
詳細は以下のとおりです。

１）対象者：全学部生
２）対象科目：下記①、②を除く全科目
　①　事前登録科目（履修登録期間中に大学側が登録する科目を含む）
　②　制限科目
※　この他に学部・学科で対象外としている科目がある場合は「Ⅳ．学部履修要項」に記載されていますので、参照してください。
※　夏期集中科目（後期扱い）の取消は前期の履修取消期間に申請してください。
３）履修取消科目の扱い：本制度を利用して取り消した前期科目と同一名称の科目を後期に履修することはできません。
４）履修取消科目の単位の扱い：本制度を利用して取り消した科目の単位数は、当該年度の申請単位数に含まれます。
５）履修取消科目の成績評価の表示：
　①　成績通知書：「W」
　②　成績証明書：記載しない。

履修取消申請方法

履修取消の申請は、所定の期間内に所属キャンパスの教務窓口でのみ受け付けます。申請の取り下げは一切認められません。履修取消申請受付期間は、「学生ポータル」で確認してください。

青山学院女子短期大学との単位互換制度について

本学では青山学院女子短期大学との相互交流を促進し、学生の教育研究上の必要のため、単位互換に関する協定を締結しています。
本制度の利用を希望する学生は以下を参照し、履修手続きを行ってください。

１）対象者：全学部生（2015年度は女子学生のみ）
２）対象学年：２年生～４年生
３）対象科目：別途「学生ポータル」にて指示。
４）履修方法：定められた期間内に手続きを行ってください。
　手続きについての期間や詳細は「学生ポータル」で確認してください。
　※１　履修が認められた科目の履修変更、履修取消は認めません。
　※２　受講に際しては女子短期大学の学事暦・時間割に従います。
５）単位認定：所定の合格基準に達した場合は、大学の科目として単位が付与されます。成績証明書および成績通知書には「＋＋」と表示されます。なお、単位が付与された場合でも、卒業要件には含まれません。

Ⅳ．社会情報学部履修要項

Ａ．2015年度入学者……13
【１】 社会情報学部履修について……14
学位について／卒業要件／コースについて／最高履修制限単位／進級条件／
修得単位僅少者／編入学者、転学部者について／外国人留学生の外国語科目
の履修について
【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表……18
【３】 外国語科目履修方法および配置表……28
【４】 専門科目履修方法および配置表……30
【５】 専門科目履修にあたっての条件……48
【６】 自由選択科目履修方法……49

Ｂ．他学部科目一覧表……51

社会情報学部
Ａ．2015年度入学者

A．社会情報学部履修要項

【1】 社会情報学部履修について

1．学位について

社会情報学部に４年以上（ただし８年を限度とします）在学し、卒業に必要な134単位以上を修得した者には、学位記を与え「学士（学術）」の学位を授与します。

2．卒業要件

本学部を卒業するためには、以下に示す卒業要件単位表にある区分ごとに、それぞれ必要な単位を修得しなければなりません。

卒業要件単位表

科目の種類		必選の別	必要単位
青山スタンダード科目		必修 選択必修	26
外国語科目	英語基礎科目	必修	4
	英語展開科目	選択必修	6
専門科目	基礎科目	必修	8
		選択必修	6
	基礎科目（数理系）	選択必修	4
	演習科目	選択必修	10
	フルリエゾン科目	必修	12
	自コースリエゾン科目	選択必修	10
	他コースリエゾン科目	選択必修	4
	自コースエリア科目	選択必修	26
自由選択科目	青山スタンダード科目、外国語科目、学部専門科目、他学部科目の中より履修する。	選択	18
総計			134

3．コースについて

本学部生は、３年次以降、以下の３コースのいずれか１コースに所属します。

【社会・情報コース】（ソーシャル・インフォメーションコース）
【社会・人間コース】（ソーシャル・ヒューマンコース）
【人間・情報コース】（ヒューマン・インフォメーションコース）

※コース登録は２年次後期におこないます。
詳細については、同学年次において学生ポータルより周知いたします。
なお、決定後のコース変更はできませんので注意してください。

「２.」の卒業要件単位表内における自コースリエゾン科目、他コースリエゾン科目、自コースエリア科目は各コースによって異なるため注意が必要です。

社会・情報コース（ソーシャル・インフォメーションコース）
自コースリエゾン科目：リエゾンＡ（社会・情報）科目
他コースリエゾン科目：リエゾンＢ（社会・人間）科目
リエゾンＣ（人間・情報）科目
自コースエリア科目　：エリア（社会）科目
エリア（情報）科目

社会・人間コース（ソーシャル・ヒューマンコース）
自コースリエゾン科目：リエゾンＢ（社会・人間）科目
他コースリエゾン科目：リエゾンＡ（社会・情報）科目
リエゾンＣ（人間・情報）科目
自コースエリア科目　：エリア（社会）科目
エリア（人間）科目

人間・情報コース（ヒューマン・インフォメーションコース）
自コースリエゾン科目：リエゾンＣ（人間・情報）科目
他コースリエゾン科目：リエゾンＡ（社会・情報）科目
リエゾンＢ（社会・人間）科目
自コースエリア科目　：エリア（情報）科目
エリア（人間）科目

※　各科目群に関しては、P.31～の専門科目配置表参照のこと

４．最高履修制限単位

最高履修制限単位とは、各年度で履修申請できる最高限度の単位数です。

社会情報学部における最高履修制限単位は次のとおりです。各年次でこの表に示す単位数を超えて履修することはできません。なお、各年次においては、１科目以上の履修をしなければなりません。

第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	合　　計
48	48	48	48	192単位

（注意）　教育職員免許状の申請を希望する学生の教職課程科目の単位は、最高履修制限単位に含まれません。

５．進級条件

３年次生から４年次生に進級するためには、３年次終了時に「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」、「特定課題演習/研究Ⅰ・Ⅱ」の履修条件である次の４条件を満たさなければなりません。

Ⅰ）３年以上在学していること。

Ⅱ）必修科目となる以下の青山スタンダード科目10単位、外国語科目４単位、基礎科目８単位、フルリエゾン科目12単位の計34単位をすべて修得していること。

青山スタンダード科目〔10単位〕
キリスト教概論Ⅰ〔２〕　健康・スポーツ演習〔２〕　情報スキルⅠ〔２〕
第二外国語〔４〕

外国語科目〔４単位〕
イングリッシュコミュニケーションⅠ〔２〕
イングリッシュコミュニケーションⅡ〔２〕

基礎科目〔８単位〕
コミュニケーション基礎〔２〕　コンピュータ実習〔２〕　統計入門〔４〕

フルリエゾン科目〔12単位〕
社会情報体験演習〔２〕　経済学概論〔２〕　情報科学概論〔２〕
人間科学概論〔２〕　ソリューション入門〔２〕　ソリューション応用〔２〕

Ⅲ）演習科目を４単位以上修得していること。

Ⅳ）卒業要件単位のうち、90単位以上修得していること。

６．修得単位僅少者

入学後の２年間（休学期間を除く）で修得単位が38単位に満たない者は、成業の見込みのない者として除籍されることがありますので、該当しないよう特に注意してください。

7．編入学者、転学部者について

編入学者、転学部者には、入学時の学年の履修条件が適用されます。

例）2015年度２年次編入または転学部の場合

2014年度入学の一般学生と同じ履修条件を適用します。

注意）編入学、転学部した年度から２年間に限り、最高履修制限単位を超えて、更に８単位を履修することができます。

8．外国人留学生の外国語科目の履修について

外国語科目（第二外国語）は、入学手続き時に申請した科目を必ず履修してください。
第一外国語・第二外国語の履修方法については以下の通りとなります。

Ａ．第一外国語の履修方法

第一外国語の必要単位

必修（４単位）

授業科目	単位	履修年次	履修順序
日本語初級Ａ－１	**1**	**1**	
日本語初級Ａ－２	**1**	**1**	日本語初級Ａ－１修得者のみ履修可
日本語初級Ｂ－１	**1**	**1**	
日本語初級Ｂ－２	**1**	**1**	日本語初級Ｂ－１修得者のみ履修可

選択必修（６単位）

【３】 外国語科目履修方法および配置表（P.28）参照

２～４年次の間に、英語を母国語とする場合は、以下の日本語の６単位を修得すること。英語を母国語としない場合は、以下の英語展開科目のうち、６単位を選択必修とします。

〔英語を母国語とする場合〕

授業科目	単位	履修年次	履修順序
日本語初級Ｃ－１	**1**	**2**	
日本語初級Ｃ－２	**1**	**2**	日本語初級Ｃ－１修得者のみ履修可
日本語中級Ａ－１	**1**	**2**	
日本語中級Ａ－２	**1**	**2**	日本語中級Ａ－１修得者のみ履修可
日本語中級Ｂ－１	**1**	**2**	
日本語中級Ｂ－２	**1**	**2**	日本語中級Ｂ－１修得者のみ履修可

〔英語を母国語としない場合〕

授業科目		単位	履修年次
英語展開科目	英語実践演習Ⅰ	2	2・3・4
	英語実践演習Ⅱ	2	2・3・4
	英語実践演習Ⅲ	2	2・3・4
	英語実践演習Ⅳ	2	2・3・4
	ビジネスライティング	2	3・4
	論文構成論	2	3・4

なお、選択必修６単位を超えて修得した場合は、自由選択科目として卒業に必要な単位に算入されます。

Ｂ．第二外国語の履修方法

言葉の技能〔領域Ｆ〕（第二外国語）の必要単位　**必修（４単位）**

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語のうちから１ヵ国語を履修すること。ただし、母国語（第一言語）は第二外国語として履修できません。

注１）入学手続き時に申請した科目のII、III、会話およびインテンシブの単位を修得した場合は、テーマ別科目として卒業に必要な単位に算入されます。

注２）本学入学前に、高等学校あるいは海外等ですでに学習したことのある者が、その学力をＩ（A）、Ｉ（B）修了者に準ずると認定された場合、IIの科目で卒業に必要な単位に充当することができます。詳細は、相模原キャンパス「学年初頭行事」を参照してください。

【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表

１．全学部に共通する教養教育の理念・目標

青山学院の教育方針は、キリスト教信仰にもとづく教育を基盤として、幅広く深い知識を授けることにより、主体的な学習能力、着実な思考力、問題解決能力および総合的な判断力を培い、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす、人間性豊かで国際性に富む人材を育成することです。

本学の全学部に共通する教養教育は、この理念をうけて、「およそ青山学院大学の卒業生であれば、どの学部・学科を卒業したかに関わりなく、一定の水準の技能・能力と一定の範囲の知識・教養をそなえているという社会的評価を受けることを到達目標とする」として、青山スタンダード科目を開講しています。

２．履修方法

科目の種類				必選の別	必要単位
青山スタンダード科目	1）教養コア	キリスト教理解関連科目		必修	2
	2）技能コア	言葉の技能	英語	※1	
			第二外国語　※2　※3	必修	4
		身体の技能		必修※4	2
		情報の技能		必修	2
	3）テーマ別	キリスト教理解関連科目		必修	2
	4）教養コア	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記４領域のうち２領域から「教養コア科目」を選択	選択必修	4
	5）領域指定	人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目	左記領域より４）で選択しなかった２領域から各１科目（２単位）ずつ選択。(「教養コア科目」あるいは「テーマ別科目」いずれも可)	選択必修	4
	フレッシャーズ・セミナー、ウェルカム・レクチャー、キャリアデザイン・セミナー、教養コア科目、技能コア科目（教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報以外)、テーマ別科目から選択。（１)～５）で修得した科目は除く）			選択	6

※１　言葉の技能･英語は、所属する学部（学科）が開講する科目を履修します。詳しくは、所属する学部（学科）の外国語科目履修方法および配置表に関するページを参照してください。(英語スキルⅠ-１、Ⅰ-２を除く）

※２　第二外国語科目の中から１外国語を選択します（入学手続き時に申請されています)。

※３　第二外国語科目には、履修順序があります。

・第二外国語科目は、それぞれ前期の単位が修得できた者のみが後期の履修を認められます。

・「インテンシブ・(第二外国語)」は週に半期４クラスをセットとし前後期で履修登録するものです。このうち前期４クラスのどれか一つでも不合格となれば後期４クラスを履修することはできません。

・「インテンシブ・(第二外国語)」「(第二外国語）Ⅱ」あるいは「(第二外国語）会話（Ⅰ)」は、「(第二外国語）Ⅰ」の必要単位をすべて修得した者のみが履修を認められます。

・「(第二外国語）Ⅲ」は、「インテンシブ･(第二外国語）(A)～(D)-１」あるいは「(第二外国語）Ⅱ-２」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

・「(第二外国語）会話（Ⅱ)」は、「インテンシブ・(第二外国語）(A)～(D)-１」「(第二外国語）Ⅱ-２」あるいは「(第二外国語）会話（Ⅰ)-２」の単位を修得した者のみ履修を認められます。

※４　教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報・地球社会共生のみ必修です。

○必要単位以上修得した場合は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○第二外国語として修得した外国語以外の第二外国語科目を修得した単位は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○受講者数の著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果等を考慮して、クラスの分割・抽選などの措置をとることがあります。

3．授業科目配置表

（太字は必修科目）

			授業科目	単位	履修年次	備考
			フレッシャーズ・セミナー	2	1	1年生のみ
			ウェルカム・レクチャー	2	1	1年生のみ
			キャリアデザイン・セミナー	2	1	1年生のみ
教養コア科目			（キリスト教理解関連科目） **キリスト教概論Ⅰ**	**2**	**1**	
教養コア科目			（人間理解関連科目） 自己理解（総合科目） 自己理解（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
教養コア科目			（社会理解関連科目） 現代社会の諸問題（総合科目） 現代社会の諸問題（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
教養コア科目			（自然理解関連科目） 科学・技術の視点（総合科目） 科学・技術の視点（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
教養コア科目			（歴史理解関連科目） 歴史と人間（総合科目） 歴史と人間（個別科目）	2 2	1 1	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
技能コア科目	言葉の技能	英語	英語スキルⅠ－1	1	1	1年生のみ
技能コア科目	言葉の技能	英語	英語スキルⅠ－2	1	1	1年生のみ
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(A)－1**	**1**	**1**	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(A)－2**	**1**	**1**	
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(B)－1**	**1**	**1**	
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(B)－2**	**1**	**1**	
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**英語（ⅠA）－1**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**英語（ⅠA）－2**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**英語（ⅠB）－1**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**英語（ⅠB）－2**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**日本語Ⅰ(A)－1**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**日本語Ⅰ(A)－2**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**日本語Ⅰ(B)－1**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	言葉の技能	第二外国語	**日本語Ⅰ(B)－2**	**1**	**1**	外国人留学生のみ
技能コア科目	身体の技能		**健康・スポーツ演習**	**2**	**1**	教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報・地球社会共生のみ必修
技能コア科目	情報の技能		**情報スキルⅠ**	**2**	**1**	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		**キリスト教概論Ⅱ**	**2**	**2・3**	理工学部・社会情報学部は2年次 他は3年次配置
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		旧約聖書と人間	2	2・3・4	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		新約聖書と人間	2	2・3・4	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		キリスト教生命倫理	2	2・3・4	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		キリスト教政治倫理	2	2・3・4	
テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）		キリスト教と自然科学	2	2・3・4	両キャンパス隔年開講

テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）	キリスト教環境倫理	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		キリスト教音楽	2	2･3･4	
		キリスト教美術	2	2･3･4	
		メソジスト教会史	2	2･3･4	
		世界の諸宗教	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		聖書の中の女性たち（旧約）	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		聖書の中の女性たち（新約）	2	2･3･4	両キャンパス隔年開講
		サービス・ラーニングⅠ	2	2･3･4	
		サービス・ラーニングⅡ	2	2･3･4	
		海外語学・キリスト教文化研修	2	2･3･4	
	人間理解関連科目（領域B）	哲学A	2	2･3･4	
		哲学B	2	2･3･4	
		哲学の諸問題A	2	2･3･4	
		哲学の諸問題B	2	2･3･4	
		哲学の諸問題C	2	2･3･4	
		哲学の諸問題D	2	2･3･4	
		論理学A	2	2･3･4	
		論理学B	2	2･3･4	
		論理学の諸問題A	2	2･3･4	
		論理学の諸問題B	2	2･3･4	
		倫理学A	2	2･3･4	
		倫理学B	2	2･3･4	
		倫理学の諸問題A	2	2･3･4	
		倫理学の諸問題B	2	2･3･4	
		西洋倫理思想史A	2	2･3･4	
		西洋倫理思想史B	2	2･3･4	
		言語学A	2	2･3･4	
		言語学B	2	2･3･4	
		日本語学A	2	2･3･4	
		日本語学B	2	2･3･4	
		文学A	2	2･3･4	
		文学B	2	2･3･4	
		文学史A	2	2･3･4	
		文学史B	2	2･3･4	
		美術A	2	2･3･4	
		美術B	2	2･3･4	
		美術史A	2	2･3･4	
		美術史B	2	2･3･4	
		音楽A	2	2･3･4	
		音楽B	2	2･3･4	
		音楽史A	2	2･3･4	
		音楽史B	2	2･3･4	

テーマ別科目	人間理解関連科目（領域B）	文化人類学A	2	2･3･4	
		文化人類学B	2	2･3･4	
		比較文化A	2	2･3･4	
		比較文化B	2	2･3･4	
		比較文化の諸問題A	2	2･3･4	
		比較文化の諸問題B	2	2･3･4	
		心理学A	2	2･3･4	心理学科除く
		心理学B	2	2･3･4	心理学科除く
		教育学A	2	2･3･4	
		教育学B	2	2･3･4	
		平和を考えるA	2	2･3･4	
		平和を考えるB	2	2･3･4	
		人間関係とコミュニケーションA	2	2･3･4	
		人間関係とコミュニケーションB	2	2･3･4	
		文化とコミュニケーションA	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		文化とコミュニケーションB	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
	社会理解関連科目（領域C）	法学(日本国憲法を含む)A	2	2･3･4	法学部除く。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		法学(日本国憲法を含む)B	2	2･3･4	
		日本の法と社会A	2	2･3･4	
		日本の法と社会B	2	2･3･4	
		国際政治経済学A	2	2･3･4	
		国際政治経済学B	2	2･3･4	
		国際関係概論A	2	2･3･4	
		国際関係概論B	2	2･3･4	
		社会学A	2	2･3･4	
		社会学B	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学A	2	2･3･4	
		現代社会と教育人間学B	2	2･3･4	
		経済学A	2	2･3･4	経済学部除く
		経済学B	2	2･3･4	経済学部除く
		情報社会科学A	2	2･3･4	
		情報社会科学B	2	2･3･4	
		情報社会論	2	2･3･4	
		社会情報論	2	2･3･4	
		人口問題A	2	2･3･4	
		人口問題B	2	2･3･4	
		フェミニズムA	2	2･3･4	
		フェミニズムB	2	2･3･4	
		民族問題A	2	2･3･4	
		民族問題B	2	2･3･4	
		マスメディアと社会	2	2･3･4	
		データサイエンス	2	2･3･4	

テーマ別科目	社会理解関連科目（領域C）	福祉と人間A	2	2･3･4	
		福祉と人間B	2	2･3･4	
		グローバリゼーションとWTO	2	2･3･4	
		日本農業とWTO	2	2･3･4	
		環境問題と社会	2	2･3･4	NPO環境平和持続の会寄附講座
		金融と生活設計	2	2･3･4	金融広報中央委員会寄附講座
	自然理解関連科目（領域D）	技術史A	2	2･3･4	
		技術史B	2	2･3･4	
		日常生活の数理	2	2･3･4	
		数理科学入門I	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部除く
		数理科学入門II	2	2･3･4	理工学部・社会情報学部除く
		数理科学の視点	2	2･3･4	
		数理モデル	2	2･3･4	
		自然科学概論A	2	2･3･4	
		自然科学概論B	2	2･3･4	
		文化としての科学・技術A	2	2･3･4	
		文化としての科学・技術B	2	2･3･4	
		生活と先端テクノロジー	2	2･3･4	
		ライフサイエンス	2	2･3･4	
		ゲノム	2	2･3･4	
		生物と地球環境	2	2･3･4	
		地球環境保全	2	2･3･4	
		バイオテクノロジーと生命倫理	2	2･3･4	
		メカの世界	2	2･3･4	
		生命と地球の歴史	2	2･3･4	
		宇宙科学	2	2･3･4	
		野鳥の生態	2	2･3･4	
		鳥類と生物多様性	2	2･3･4	
		植物生態学	2	2･3･4	
		先端エレクトロニクス	2	2･3･4	
		環境科学A	2	2･3･4	
		環境科学B	2	2･3･4	
		自然地理学A	2	2･3･4	
		自然地理学B	2	2･3･4	
		科学史	2	2･3･4	
		生命と生態系（環境と生物）	2	2･3･4	
		生命の連続（遺伝）	2	2･3･4	
		かたちの科学	2	2･3･4	
		自然史	2	2･3･4	
		自然観の変遷	2	2･3･4	
		青山学院大学の歴史	2	2･3･4	
		日本社会史A	2	2･3･4	

テーマ別科目	歴史理解関連科目（領域E）	日本社会史B	2	2･3･4	
		日本社会史C	2	2･3･4	
		中国史A	2	2･3･4	
		中国史B	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史A	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史B	2	2･3･4	
		ヨーロッパ史C	2	2･3･4	
		現代史A	2	2･3･4	
		現代史B	2	2･3･4	
		現代史C	2	2･3･4	
		現代史D	2	2･3･4	
		考古学A	2	2･3･4	
		考古学B	2	2･3･4	
		科学思想史A	2	2･3･4	
	言葉の技能（領域F）	インテンシブ・(第二外国語)(A)-1	1	2･3･4	(第二外国語) はフランス語 (フランス文学科除く)、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		インテンシブ・(第二外国語)(A)-2	1	2･3･4	
		インテンシブ・(第二外国語)(B)-1	1	2･3･4	
		インテンシブ・(第二外国語)(B)-2	1	2･3･4	
		インテンシブ・(第二外国語)(C)-1	1	2･3･4	
		インテンシブ・(第二外国語)(C)-2	1	2･3･4	
		インテンシブ・(第二外国語)(D)-1	1	2･3･4	
		インテンシブ・(第二外国語)(D)-2	1	2･3･4	
		(第二外国語) II(A)-1	1	2･3･4	(第二外国語) はフランス語 (フランス文学科除く)、ドイツ語、スペイン語、中国語を指します。
		(第二外国語) II(A)-2	1	2･3･4	
		(第二外国語) II(B)-1	1	2･3･4	
		(第二外国語) II(B)-2	1	2･3･4	
		(第二外国語) II(C)-1	1	2･3･4	
		(第二外国語) II(C)-2	1	2･3･4	
		(第二外国語) II-1	1	2･3･4	(第二外国語)はロシア語、韓国語を指します。
		(第二外国語) II-2	1	2･3･4	
		英語 II-1	1	2･3･4	フランス文学科のみ
		英語 II-2	1	2･3･4	
		英語 (IIA)-1	1	2･3･4	外国人留学生のみ
		英語 (IIA)-2	1	2･3･4	
		英語 (IIB)-1	1	2･3･4	
		英語 (IIB)-2	1	2･3･4	
		日本語 II-1	1	2･3･4	外国人留学生のみ
		日本語 II-2	1	2･3･4	
		(第二外国語) III-1	1	3・4	(第二外国語)はドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		(第二外国語) III-2	1	3・4	
		フランス語 III(A)-1	1	3・4	フランス文学科除く
		フランス語 III(A)-2	1	3・4	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	フランス語 III(B)-1	1	3・4	
		フランス語 III(B)-2	1	3・4	
		英語 III-1	1	3・4	フランス文学科のみ
		英語 III-2	1	3・4	
		英語 (III)-1	1	3・4	外国人留学生のみ
		英語 (III)-2	1	3・4	
		日本語 III-1	1	3・4	外国人留学生のみ
		日本語 III-2	1	3・4	
		（第二外国語）会話（I）-1	1	2･3･4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、英語（フランス文学科のみ）を指します。
		（第二外国語）会話（I）-2	1	2･3･4	
		（第二外国語）会話（II）-1	1	3・4	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		（第二外国語）会話（II）-2	1	3・4	
		日本語 (I S)A	1	3	交換留学生のみ
		日本語 (I F)A	1	3	
		日本語 (I S)B	1	3	
		日本語 (I F)B	1	3	
		日本語 (I S)C	1	3	
		日本語 (I F)C	1	3	
		日本語 (I S)D	1	3	
		日本語 (I F)D	1	3	
		日本語 (II S)A	1	3	
		日本語 (II F)A	1	3	
		日本語 (II S)B	1	3	
		日本語 (II F)B	1	3	
		日本語 (II S)C	1	3	
		日本語 (II F)C	1	3	
		日本語 (II S)D	1	3	
		日本語 (II F)D	1	3	
		日本語 (III S)A	1	3	
		日本語 (III F)A	1	3	
		日本語 (III S)B	1	3	
		日本語 (III F)B	1	3	
		日本語 (III S)C	1	3	
		日本語 (III F)C	1	3	
		日本語 (III S)D	1	3	
		日本語 (III F)D	1	3	
		日本語 (IV S)A	1	3	
		日本語 (IV F)A	1	3	
		日本語 (IV S)B	1	3	
		日本語 (IV F)B	1	3	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	日本語(IV S)C	1	3	
		日本語(IV F)C	1	3	
		日本語(IV S)D	1	3	
		日本語(IV F)D	1	3	
		日本語(V S)A	1	3	
		日本語(V F)A	1	3	
		日本語(V S)B	1	3	
		日本語(V F)B	1	3	
		日本語(V S)C	1	3	
		日本語(V F)C	1	3	
		日本語(V S)D	1	3	
		日本語(V F)D	1	3	
		日本語(VI S)A	1	3	
		日本語(VI F)A	1	3	
		日本語(VI S)B	1	3	
		日本語(VI F)B	1	3	
		日本語(VI S)C	1	3	交換留学生のみ
		日本語(VI F)C	1	3	
		日本語(VI S)D	1	3	
		日本語(VI F)D	1	3	
		日本事情(I S)	2	3	
		日本事情(I F)	2	3	
		日本事情(II S)	2	3	
		日本事情(II F)	2	3	
		日本事情(III S)	2	3	
		日本事情(III F)	2	3	
		日本事情(IV S)	2	3	
		日本事情(IV F)	2	3	
		日本事情(V S)	2	3	
		日本事情(V F)	2	3	
		日本事情(VI S)	2	3	
		日本事情(VI F)	2	3	
		アメリカ合衆国の社会と文化A	2	2･3･4	
		アメリカ合衆国の社会と文化B	2	2･3･4	
		アメリカ合衆国の社会と文化C	2	2･3･4	
		英語圏の社会と文化A	2	2･3･4	国際政治経済学部除く
		英語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		フランス語圏の社会と文化C	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ドイツ語圏の社会と文化B	2	2･3･4	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	ドイツ語圏の社会と文化C	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		スペイン語圏の社会と文化C	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		中国語圏の社会と文化C	2	2･3･4	
		ロシア語圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		ロシア語圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		韓国・朝鮮の社会と文化A	2	2･3･4	
		韓国・朝鮮の社会と文化B	2	2･3･4	
		イスラム圏の社会と文化A	2	2･3･4	
		イスラム圏の社会と文化B	2	2･3･4	
		日本学A	2	2･3･4	交換留学生・外国人留学生のみ
		日本学B	2	2･3･4	交換留学生・外国人留学生のみ
		English Studies A	2	2･3･4	
		English Studies B	2	2･3･4	
		English Studies C	2	2･3･4	
		English Studies E	2	2･3･4	
		ことばの研究A	2	2･3･4	
		ことばの研究B	2	2･3･4	
		少数民族の社会と文化A	2	2･3･4	
		少数民族の社会と文化B	2	2･3･4	
		民族文化論A	2	2･3･4	
		民族文化論B	2	2･3･4	
	身体の技能（領域G）	健康医学	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気A	2	2･3･4	
		身体の仕組みと病気B	2	2･3･4	
		スポーツ生理学	2	2･3･4	
		スポーツバイオメカニクス	2	2･3･4	
		スポーツ心理学	2	2･3･4	
		動きの人間学	2	2･3･4	
		医療社会学	2	2･3･4	
		スポーツ運動実習	1	2･3･4	４回まで重複履修を認めます。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		アドバンストスポーツ実習	2	2･3･4	
		現代社会における食と健康	2	2･3･4	一般社団法人ファイブ・ア・デイ協会寄附講座
	情報の技能（領域H）	ウェブプログラミング	2	2･3･4	
		コンピュータプログラミング	2	2･3･4	
		コンピュータと社会	2	2･3･4	
		データ分析入門	2	2･3･4	

テーマ別科目		情報スキルII	2	2･3･4	
		eラーニングの法的課題入門	2	2･3･4	
	キャリアの技能（領域I）	キャリアデザイン基礎	2	2･3･4	
		キャリアデザイン応用	2	3・4	
		仕事力基礎論	2	2･3･4	
		国際ビジネス入門A	2	2･3･4	
		国際ビジネス入門B	2	2･3･4	
		感性ビジネスA ―ファッション産業のフロンティア―	2	2･3･4	
		感性ビジネスB ―ファッション産業のフロンティア―	2	2･3･4	
		感性ビジネスC ―ファッション･ビジネス戦略論―	2	2･3･4	㈶ファッション産業人材育成機構（IFI）寄附講座
		感性ビジネスD ―ファッション･ビジネス戦略論―	2	2･3･4	㈶ファッション産業人材育成機構（IFI）寄附講座
		パーソナル･マネー･マネジメント入門	2	2･3･4	三井生命保険株式会社寄附講座
		企業のモノづくりと人づくりのリテラシー	2	2･3･4	
		国際ビジネスと海外事情A	2	2･3･4	
		国際ビジネスと海外事情B	2	2･3･4	
		現代金融の諸問題	2	2･3･4	金融青山会寄附講座
		ファイナンシャルプランニング入門	2	2･3･4	一般社団法人シニアライフ協会寄附講座
		ファイナンシャルプランニング基礎	2	2･3･4	一般社団法人シニアライフ協会寄附講座
		囲碁で養うロジカルシンキング	2	2･3･4	公益財団法人日本棋院寄附講座
		ファッション流通ビジネス論	2	2･3･4	
		海外語学・文化研修I	2	2･3･4	
		海外語学・文化研修II	2	2･3･4	
		海外語学・文化研修III	2	2･3･4	
		インターンシップI	2	2･3･4	
		インターンシップII	2	2･3･4	
		インターンシップIII	2	2･3･4	
		ビジネスコミュニケーション	2	2･3･4	
		世界遺産入門	2	2･3･4	NPO法人世界遺産アカデミー寄附講座
		営業学入門	2	2･3･4	プルデンシャル生命保険株式会社寄附講座
		営業学基礎	2	2･3･4	プルデンシャル生命保険株式会社寄附講座

【３】 外国語科目履修方法および配置表

１．第一外国語科目履修方法

第一外国語のクラスは指定制のため、指定以外のクラスで履修することはできません。
なお、所要単位を超えて修得した単位は自由選択科目の単位に算入されます。

２．第一外国語科目配置表

外国語科目は、まず１年次に英語基礎科目として、日本語に加えて英語によるコミュニケーションの大切さを学び、２年次より英語展開科目として、将来、海外留学や実務においても有効となりうる科目、社会情報学における問題について具体的に英語でプレゼンテーションする科目、英語での論文作成に必要なスキルを身につける科目などを学びます。

⑴　外国語科目の必要単位　　〔　〕内は単位数

必　　修〔４単位〕

英語基礎科目　　イングリッシュコミュニケーションⅠ〔２〕
　　イングリッシュコミュニケーションⅡ〔２〕

選択必修〔６単位〕

２～４年次の間に、英語展開科目から、３科目６単位以上を選択必修。

外国語科目配置表　　（太字は必修）

授業科目		単位	履修年次	備考
英語基礎科目	**イングリッシュコミュニケーションⅠ**	**2**	**1**	
	イングリッシュコミュニケーションⅡ	**2**	**1**	
英語展開科目	英語実践演習Ⅰ	2	2・3・4	検定試験対策Ⅰ（TOEIC®）
	英語実践演習Ⅱ	2	2・3・4	検定試験対策Ⅱ（TOEIC®）
	英語実践演習Ⅲ	2	2・3・4	検定試験対策Ⅲ（TOEFL®）
	英語実践演習Ⅳ	2	2・3・4	検定試験対策Ⅳ（TOEFL®）
	イングリッシュプレゼンテーション	2	3・4	
	ビジネスライティング	2	3・4	
	論文構成論	2	3・4	

⑵　履修順序について（下記の科目については、下表のように履修順序があります。）

1	2
	１を履修し合格した場合のみ履修できます。
イングリッシュコミュニケーションⅠ イングリッシュコミュニケーションⅡ	イングリッシュプレゼンテーション

⑶　必修科目および選択必修科目の必要単位を満たしたうえ、さらに外国語選択科目を修得した場合、その単位は自由選択科目に算入されます。

3．第二外国語

(1)　第二外国語の履修単位

必修（4単位）　※下表参照

第二外国語科目：青山スタンダード科目技能コア科目（言葉の技能）

必修2単位の履修方法は、

Ⅰ(A)−1、Ⅰ(A)−2、Ⅰ(B)−1、Ⅰ(B)−2のいずれかより4単位を修得すること。

ただし、−1.−2.については、履修順序に従って下さい。

第二外国語科目

①	②	③	④
	①を合格した場合のみ履修可	①②の必修科目をすべて合格した場合のみ履修可	③を合格した場合のみ履修可
青山スタンダード科目（言葉の技能）			
Ⅰ(A)−1 フランス語 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語	**Ⅰ(A)−2** フランス語 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語	**Ⅱ** フランス語 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語	**Ⅲ** フランス語 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語
Ⅰ(B)−1 フランス語 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語	**Ⅰ(B)−2** フランス語 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語	**Ⅱ or 会話（Ⅰ）** フランス語 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語	**会話（Ⅱ）** フランス語 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語

※上表①の単位が修得できない時、②の科目の履修登録は自動的に削除されます。

【４】 専門科目履修方法および配置表

１．専門科目履修方法

⑴ **学部専門科目の必要単位**

必　　修〔20単位〕

基礎科目〔８単位〕

コミュニケーション基礎〔２〕 コンピュータ実習〔２〕 統計入門〔４〕

フルリエゾン科目〔12単位〕

社会情報体験演習〔２〕 経済学概論〔２〕 情報科学概論〔２〕
人間科学概論〔２〕 ソリューション入門〔２〕 ソリューション応用〔２〕

選択必修科目〔60単位〕

基礎科目〔10単位〕

１～４年次の間に、基礎科目（数理系）６科目のうちから２科目４単位以上を含め、必修科目を除く10単位を選択必修として修得しなければなりません。

演習科目（卒業研究を含む）〔10単位〕

３年次までに４単位以上を修得し、４年次においては、
卒業研究Ⅰ〔３〕と卒業研究Ⅱ〔３〕
特定課題演習/研究Ⅰ〔１〕と特定課題演習/研究Ⅱ〔１〕
のいずれかを履修し修得しなければなりません。

［注意事項］

① 「特定課題演習/研究Ⅰ」「特定課題演習/研究Ⅱ」と「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」を原則として同時に履修出来ません。
② 「特定課題演習/研究Ⅰ」と「卒業研究Ⅱ」のような組合せは不可となります。
③ 原則としてそれぞれの「Ⅰ」を修得しないと「Ⅱ」は履修出来ません。
④ 「卒業研究Ⅰ」を履修した場合、卒業のためには「卒業研究Ⅱ」を必ず修得しなければなりません。

自コースリエゾン科目〔10単位〕

３年次より決定する自コースリエゾン科目10単位を選択必修とします。
なお、３年進級時において既に自コースリエゾン科目を修得していた場合は、この選択必修に置き換えることができます。

他コースリエゾン科目〔４単位〕

３年次より決定する他コースリエゾン科目４単位を選択必修とします。
なお、３年進級時において既に他コースリエゾン科目を修得していた場合は、この選択必修に置き換えることができます。

自コースエリア科目〔26単位〕

３年次より決定するコースに応じたエリア科目より26単位を選択必修とします。自コースリエゾン科目10単位を超えて修得した場合，この自コースエリア科目に算入されます。

他コースエリア科目

自由選択科目に算入されます。

⑵ 履修登録にあたっての条件等について

学部専門科目においては、履修登録にあたって条件等が示されているものがあります。必ず、後述「【５】 専門科目履修にあたっての条件」のほか講義内容をよく読んでその条件等を備えているか確認してください。

2．専門科目配置表

〔備考欄に「※」のある科目は、後述「【5】専門科目履修にあたっての条件」を参照のこと。〕

■□の演習科目について
これらの科目は体育会所属学生、または競技スポーツにおいて一定の基準以上の経験を有し、特別に許可された学生のみ履修許可される。

（太字は必修）

科目区分	授業科目	単位	履修年次	備　考
フルリエゾン科目	**社会情報体験演習**	**2**	**1**	
	ソリューション入門	**2**	**1**	
	経済学概論	**2**	**1**	
	情報科学概論	**2**	**1**	
	人間科学概論	**2**	**1**	
	ソリューション応用	**2**	**2**	
基礎科目	**コミュニケーション基礎**	**2**	**1**	
	コンピュータ実習	**2**	**1**	
	統計入門	**4**	**1**	
	データ分析	2	2・3	※
	データ分析演習	2	2・3	※
	社会統計	2	2・3	
	社会統計演習	2	2・3	※
	社会調査法Ⅰ	2	2・3	
	プロジェクトマネジメント	2	2・3	
	時事英語	2	2・3	
	社会調査実習	2	3・4	※
	データマイニング	2	3・4	
	データマイニング演習	2	3・4	
基礎科目（数理系）	社会数理入門	2	1	
	社会数理Ⅰ	2	1・2	
	社会数理Ⅱ	2	1・2	
	数理情報Ⅰ	2	1・2	
	数理情報Ⅱ	2	1・2	
	経済数学	2	2・3	
演習科目	プロジェクト演習入門Ⅰ	2	2・3・4	※ これらの演習科目について2年次で履修できる単位数は4単位までである。
	プロジェクト演習入門Ⅱ	2	2・3・4	
	■　地域スポーツ演習	2	2・3・4	
	■　生涯スポーツ演習	2	2・3・4	
	■　健康スポーツキャリア演習Ａ	2	2・3・4	
	■　健康スポーツキャリア演習Ｂ	2	2・3・4	
	プロジェクト演習Ⅰ	2	3・4	※ プロジェクト演習Ⅰ、Ⅱとスポーツビジネスキャリア演習A、Bを同時履修することはできない。
	プロジェクト演習Ⅱ	2	3・4	
	□　スポーツビジネスキャリア演習Ａ	2	2・3・4	※
	□　スポーツビジネスキャリア演習Ｂ	2	2・3・4	
	ゼミナールⅠ	2	3・4	ゼミナールⅠと数理代数特別演習、ゼミナールⅡと構造幾何特別演習は、同一年度に履修できない。
	ゼミナールⅡ	2	3・4	
	数理代数特別演習	2	3・4	
	構造幾何特別演習	2	3・4	
	特定課題演習/研究Ⅰ	1	4	原則として、Ⅰを修得しないとⅡを履修出来ない。原則として、Ⅰ･Ⅱは同一担当者で履修すること。
	特定課題演習/研究Ⅱ	1	4	
	卒業研究Ⅰ	3	4	原則として、Ⅰを修得しないとⅡを履修出来ない。原則として、Ⅰ･Ⅱは同一担当者で履修すること。
	卒業研究Ⅱ	3	4	
リエゾンA（社会・情報）科目	情報社会論	2	2・3・4	
	情報産業論	2	2・3・4	
	情報リスク論	2	2・3・4	
	広報論	2	2・3・4	
	リスクマネジメント論	2	2・3・4	
	システム分析・設計基礎	2	2・3・4	※
	システム分析・設計基礎演習	2	2・3・4	
	システム分析・設計応用	2	3・4	

（太字は必修）

科目区分	授業科目	単位	履修年次	備　考
リエゾンA（社会・情報）科目	情報倫理	2	2・3・4	
	情報化社会と法	2	2・3・4	
	情報政策	2	2・3・4	
	社会・情報特別講義Ａ	2	2・3・4	
	社会・情報特別講義Ｂ	2	2・3・4	
リエゾンB（社会・人間）科目	合理的思考と社会行動	2	2・3・4	
	社会心理学	2	2・3・4	
	ワークショップデザイン	2	2・3・4	※
	社会学	2	2・3・4	
	現代の世界と日本	2	2・3・4	
	コミュニケーション心理学	2	2・3・4	
	確率統計	2	2・3・4	
	ジャーナリズム	2	2・3・4	
	意思決定理論と実践	2	2・3・4	
	リーダシップの理論と実践	2	2・3・4	
	観光経済論	2	3・4	
	行政学	2	2・3・4	
	社会・人間特別講義Ａ	2	3・4	
	社会・人間特別講義Ｂ	2	2・3・4	
リエゾンC（人間・情報）科目	マルチメディア学習論	2	2・3・4	
	ネット社会とコミュニティ	2	2・3・4	
	ヒューマンインタフェース	2	2・3・4	
	メディアコミュニケーション	2	2・3・4	
	メディア論	2	2・3・4	
	情報デザイン	2	2・3・4	
	メディアコンテンツ制作	2	2・3・4	
	コンテンツマネジメント	2	2・3・4	
	人間・情報特別講義Ａ	2	2・3・4	
	人間・情報特別講義Ｂ	2	2・3・4	
エリア（社会）科目	マクロ経済学Ⅰ	2	2・3・4	
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2・3・4	
	経営学	2	2・3・4	
	会計学	2	2・3・4	
	マクロ経済政策	2	3・4	
	ミクロ経済政策	2	3・4	
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2・3・4	
	マクロ経済学Ⅱ	2	2・3・4	
	証券市場Ⅰ	2	2・3・4	
	証券市場Ⅱ	2	2・3・4	
	経済解析	2	2・3・4	
	経営分析	2	2・3・4	
	経営戦略論	2	2・3・4	
	公共経済学	2	2・3・4	
	金融論	2	2・3・4	
	国際ファイナンス	2	3・4	
	数理ファイナンス	2	2・3・4	
	コーポレートファイナンス	2	2・3・4	
	コーポレートガバナンス	2	3・4	
	インベストメント	2	2・3・4	
	デリバティブズ	2	2・3・4	
	エネルギー経済論	2	2・3・4	
	国際エネルギー論	2	2・3・4	

（太字は必修）

科目区分	授業科目	単位	履修年次	備　考
エリア（社会）科目	計量経済学	2	2・3・4	※
	計量経済学演習	2	2・3・4	※
	現象の数理演習	1	2・3・4	※
	現象の数理	2	2・3・4	
	グローバルビジネス	2	2・3・4	
エリア（情報）科目	離散数学	2	2・3・4	
	プログラミング基礎	2	2・3・4	※
	プログラミング基礎演習	2	2・3・4	
	オブジェクト指向プログラミング	2	2・3・4	※
	オブジェクト指向プログラミング演習	2	2・3・4	
	データベース基礎	2	2・3・4	
	コンピュータネットワーク基礎	2	2・3・4	
	ウェブコンテンツ作成演習	2	2・3・4	
	ウェブテクノロジー	2	2・3・4	
	情報科学基礎	2	2・3・4	
	アルゴリズムとデータ構造	2	2・3・4	
	数理代数Ⅰ	2	3・4	
	数理代数Ⅰ演習	1	3・4	※
	人工知能基礎	2	3・4	
	情報システム計画	2	3・4	
	情報システム演習	2	3・4	
	情報セキュリティ	2	3・4	
	情報科学総合演習	2	3・4	
	ウェブプログラミング演習	2	3・4	
	データベースシステム	2	3・4	
	ネットワーク構築演習	2	3・4	
	サーバー構築演習	2	3・4	
	ウェブ論	2	3・4	
エリア（人間）科目	人間科学研究法	2	2・3・4	
	認知心理学	2	2・3・4	
	学習心理学	2	2・3・4	
	文化心理学	2	2・3・4	
	発達心理学	2	2・3・4	
	心理学演習	2	2・3・4	
	スポーツと心の科学	2	3・4	
専門自由科目	数学入門	2	1	
	社会数理Ⅰ演習	1	1・2	※
	社会数理Ⅱ演習	1	1・2	※
	数理情報Ⅰ演習	1	1・2	※
	数理情報Ⅱ演習	1	1・2	※
	数の歴史	2	2・3・4	
	数理解析基礎	2	2・3・4	
	数理解析基礎演習	1	2・3・4	※
	構造幾何Ⅰ	2	2・3・4	
	構造幾何Ⅰ演習	1	2・3・4	※
	社会調査法Ⅱ	2	2・3・4	
	複素解析	2	3・4	
	複素解析演習	1	3・4	※
	数理代数Ⅱ	2	3・4	
	構造幾何Ⅱ	2	3・4	
	構造幾何Ⅱ演習	1	3・4	※
	集合と位相	2	3・4	

（太字は必修）

科目区分	授業科目	単位	履修年次	備　考
専門自由科目	集合と位相演習	1	3・4	※
	コミュニティサービス	2	2・3・4	
	コミュニケーションデザイン実践	2	2・3・4	
	ワークショップデザイン実践	2	2・3・4	
	スポーツキャリア基礎 A	1	2・3・4	
	スポーツキャリア基礎 B	1	2・3・4	
	スポーツ健康科学基礎	1	2・3・4	
	スポーツ傷害学基礎	1	2・3・4	
	健康スポーツ統計学基礎	1	2・3・4	
	スポーツ倫理学基礎	1	2・3・4	
	社会資格講義	2	3・4	NPO 法人世界遺産アカデミー寄附講座
	地方行政と産業振興～さがみはら～	2	1・2・3・4	相模原市寄附講座
	インターンシップ	2	2・3・4	卒業要件外
	ウェブサービス構築	2	2・3・4	ニフティ㈱寄附講座 卒業要件外
	情報と職業	2	2・3・4	注１）卒業要件外

注１）「情報と職業」は教職申請者のみ履修を認めます。

コース別 科目配置表

コース別専門科目配置表

(1) 社会・情報コース

〔備考欄に「※」のある科目は、後述「【5】専門科目履修にあたっての条件」を参照のこと。〕

■□の演習科目について
これらの科目は体育会所属学生、または競技スポーツにおいて一定の基準以上の経験を有し、特別に許可された学生のみ履修許可される。

社会・情報コース　　（太字は必修）

科目区分		授業科目	単位	履修年次	備　考
フルリエゾン科目		**社会情報体験演習**	**2**	**1**	
		ソリューション入門	**2**	**1**	
		経済学概論	**2**	**1**	
		情報科学概論	**2**	**1**	
		人間科学概論	**2**	**1**	
		ソリューション応用	**2**	**2**	
基礎科目		**コミュニケーション基礎**	**2**	**1**	
		コンピュータ実習	**2**	**1**	
		統計入門	**4**	**1**	
		データ分析	2	2・3	※
		データ分析演習	2	2・3	※
		社会統計	2	2・3	
		社会統計演習	2	2・3	※
		社会調査法Ⅰ	2	2・3	
		プロジェクトマネジメント	2	2・3	
		時事英語	2	2・3	
		社会調査実習	2	3・4	※
		データマイニング	2	3・4	
		データマイニング演習	2	3・4	
基礎科目（数理系）		社会数理入門	2	1	
		社会数理Ⅰ	2	1・2	
		社会数理Ⅱ	2	1・2	
		数理情報Ⅰ	2	1・2	
		数理情報Ⅱ	2	1・2	
		経済数学	2	2・3	
演習科目		プロジェクト演習入門Ⅰ	2	2・3・4	※ これらの演習科目について2年次で履修できる単位数は4単位までである。
		プロジェクト演習入門Ⅱ	2	2・3・4	
		■　地域スポーツ演習	2	2・3・4	
		■　生涯スポーツ演習	2	2・3・4	
		■　健康スポーツキャリア演習Ａ	2	2・3・4	
		■　健康スポーツキャリア演習Ｂ	2	2・3・4	
		プロジェクト演習Ⅰ	2	3・4	※ プロジェクト演習Ⅰ、Ⅱとスポーツビジネスキャリア演習A、Bを同時履修することはできない。
		プロジェクト演習Ⅱ	2	3・4	
		□　スポーツビジネスキャリア演習Ａ	2	2・3・4	※
		□　スポーツビジネスキャリア演習Ｂ	2	2・3・4	
		ゼミナールⅠ	2	3・4	ゼミナールⅠと数理代数特別演習、ゼミナールⅡと構造幾何特別演習は、同一年度に履修できない。
		ゼミナールⅡ	2	3・4	
		数理代数特別演習	2	3・4	
		構造幾何特別演習	2	3・4	
		特定課題演習/研究Ⅰ	1	4	原則として、Ⅰを修得しないとⅡを履修出来ない。原則として、Ⅰ・Ⅱは同一担当者で履修すること。
		特定課題演習/研究Ⅱ	1	4	
		卒業研究Ⅰ	3	4	原則として、Ⅰを修得しないとⅡを履修出来ない。原則として、Ⅰ・Ⅱは同一担当者で履修すること。
		卒業研究Ⅱ	3	4	
自コースリエゾン科目	リエゾンA（社会・情報）科目	情報社会論	2	2・3・4	
		情報産業論	2	2・3・4	
		情報リスク論	2	2・3・4	
		広報論	2	2・3・4	
		リスクマネジメント論	2	2・3・4	
		システム分析・設計基礎	2	2・3・4	※
		システム分析・設計基礎演習	2	2・3・4	
		システム分析・設計応用	2	3・4	

社会・情報コース　　（太字は必修）

科目区分		授業科目	単位	履修年次	備　考
自コースリエゾン科目	リエゾンA（社会・情報）科目	情報倫理	2	2・3・4	
		情報化社会と法	2	2・3・4	
		情報政策	2	2・3・4	
		社会・情報特別講義A	2	2・3・4	
		社会・情報特別講義B	2	2・3・4	
他コースリエゾン科目	リエゾンB（社会・人間）科目	合理的思考と社会行動	2	2・3・4	
		社会心理学	2	2・3・4	
		ワークショップデザイン	2	2・3・4	※
		社会学	2	2・3・4	
		現代の世界と日本	2	2・3・4	
		コミュニケーション心理学	2	2・3・4	
		確率統計	2	2・3・4	
		ジャーナリズム	2	2・3・4	
		意思決定理論と実践	2	2・3・4	
		リーダシップの理論と実践	2	2・3・4	
		観光経済論	2	3・4	
		行政学	2	2・3・4	
		社会・人間特別講義A	2	3・4	
		社会・人間特別講義B	2	2・3・4	
	リエゾンC（人間・情報）科目	マルチメディア学習論	2	2・3・4	
		ネット社会とコミュニティ	2	2・3・4	
		ヒューマンインタフェース	2	2・3・4	
		メディアコミュニケーション	2	2・3・4	
		メディア論	2	2・3・4	
		情報デザイン	2	2・3・4	
		メディアコンテンツ制作	2	2・3・4	
		コンテンツマネジメント	2	2・3・4	
		人間・情報特別講義A	2	2・3・4	
		人間・情報特別講義B	2	2・3・4	
自コースエリア科目	エリア（社会）科目	マクロ経済学Ⅰ	2	2・3・4	
		ミクロ経済学Ⅰ	2	2・3・4	
		経営学	2	2・3・4	
		会計学	2	2・3・4	
		マクロ経済政策	2	3・4	
		ミクロ経済政策	2	3・4	
		ミクロ経済学Ⅱ	2	2・3・4	
		マクロ経済学Ⅱ	2	2・3・4	
		証券市場Ⅰ	2	2・3・4	
		証券市場Ⅱ	2	2・3・4	
		経済解析	2	2・3・4	
		経営分析	2	2・3・4	
		経営戦略論	2	2・3・4	
		公共経済学	2	2・3・4	
		金融論	2	2・3・4	
		国際ファイナンス	2	3・4	
		数理ファイナンス	2	2・3・4	
		コーポレートファイナンス	2	2・3・4	
		コーポレートガバナンス	2	3・4	
		インベストメント	2	2・3・4	
		デリバティブズ	2	2・3・4	
		エネルギー経済論	2	2・3・4	
		国際エネルギー論	2	2・3・4	

社会・情報コース　　（太字は必修）

科目区分		授業科目	単位	履修年次	備　考
自コースエリア科目	エリア（社会）科目	計量経済学	2	2・3・4	※
		計量経済学演習	2	2・3・4	※
		現象の数理演習	1	2・3・4	※
		現象の数理	2	2・3・4	
		グローバルビジネス	2	2・3・4	
	エリア（情報）科目	離散数学	2	2・3・4	
		プログラミング基礎	2	2・3・4	※
		プログラミング基礎演習	2	2・3・4	
		オブジェクト指向プログラミング	2	2・3・4	※
		オブジェクト指向プログラミング演習	2	2・3・4	
		データベース基礎	2	2・3・4	
		コンピュータネットワーク基礎	2	2・3・4	
		ウェブコンテンツ作成演習	2	2・3・4	
		ウェブテクノロジー	2	2・3・4	
		情報科学基礎	2	2・3・4	
		アルゴリズムとデータ構造	2	2・3・4	
		数理代数Ⅰ	2	3・4	
		数理代数Ⅰ演習	1	3・4	※
		人工知能基礎	2	3・4	
		情報システム計画	2	3・4	
		情報システム演習	2	3・4	
		情報セキュリティ	2	3・4	
		情報科学総合演習	2	3・4	
		ウェブプログラミング演習	2	3・4	
		データベースシステム	2	3・4	
		ネットワーク構築演習	2	3・4	
		サーバー構築演習	2	3・4	
		ウェブ論	2	3・4	
他コースエリア科目	エリア（人間）科目	人間科学研究法	2	2・3・4	
		認知心理学	2	2・3・4	
		学習心理学	2	2・3・4	
		文化心理学	2	2・3・4	
		発達心理学	2	2・3・4	
		心理学演習	2	2・3・4	
		スポーツと心の科学	2	3・4	
専門自由科目		数学入門	2	1	
		社会数理Ⅰ演習	1	1・2	※
		社会数理Ⅱ演習	1	1・2	※
		数理情報Ⅰ演習	1	1・2	※
		数理情報Ⅱ演習	1	1・2	※
		数の歴史	2	2・3・4	
		数理解析基礎	2	2・3・4	
		数理解析基礎演習	1	2・3・4	※
		構造幾何Ⅰ	2	2・3・4	
		構造幾何Ⅰ演習	1	2・3・4	※
		社会調査法Ⅱ	2	2・3・4	
		複素解析	2	3・4	
		複素解析演習	1	3・4	※
		数理代数Ⅱ	2	3・4	
		構造幾何Ⅱ	2	3・4	
		構造幾何Ⅱ演習	1	3・4	※
		集合と位相	2	3・4	

社会・情報コース　　**（太字は必修）**

科目区分	授業科目	単位	履修年次	備　考
専門自由科目	集合と位相演習	1	3・4	※
	コミュニティサービス	2	2・3・4	
	コミュニケーションデザイン実践	2	2・3・4	
	ワークショップデザイン実践	2	2・3・4	
	スポーツキャリア基礎 A	1	2・3・4	
	スポーツキャリア基礎 B	1	2・3・4	
	スポーツ健康科学基礎	1	2・3・4	
	スポーツ傷害学基礎	1	2・3・4	
	健康スポーツ統計学基礎	1	2・3・4	
	スポーツ倫理学基礎	1	2・3・4	
	社会資格講義	2	3・4	NPO 法人世界遺産アカデミー寄附講座
	地方行政と産業振興～さがみはら～	2	1・2・3・4	相模原市寄附講座
	インターンシップ	2	2・3・4	卒業要件外
	ウェブサービス構築	2	2・3・4	ニフティ㈱寄附講座 卒業要件外
	情報と職業	2	2・3・4	注１）卒業要件外

注１）「情報と職業」は教職申請者のみ履修を認めます。

コース別専門科目配置表

(2) 社会・人間コース

〔備考欄に「※」のある科目は、後述「【5】専門科目履修にあたっての条件」を参照のこと。〕

■□の演習科目について
これらの科目は体育会所属学生、または競技スポーツにおいて一定の基準以上の経験を有し、特別に許可された学生のみ履修許可される。

社会・人間コース　　（太字は必修）

科目区分		授業科目	単位	履修年次	備　考
フルリエゾン科目		**社会情報体験演習**	**2**	**1**	
		ソリューション入門	**2**	**1**	
		経済学概論	**2**	**1**	
		情報科学概論	**2**	**1**	
		人間科学概論	**2**	**1**	
		ソリューション応用	**2**	**2**	
基礎科目		**コミュニケーション基礎**	**2**	**1**	
		コンピュータ実習	**2**	**1**	
		統計入門	**4**	**1**	
		データ分析	2	2・3	※
		データ分析演習	2	2・3	※
		社会統計	2	2・3	
		社会統計演習	2	2・3	※
		社会調査法Ⅰ	2	2・3	
		プロジェクトマネジメント	2	2・3	
		時事英語	2	2・3	
		社会調査実習	2	3・4	※
		データマイニング	2	3・4	
		データマイニング演習	2	3・4	
基礎科目（数理系）		社会数理入門	2	1	
		社会数理Ⅰ	2	1・2	
		社会数理Ⅱ	2	1・2	
		数理情報Ⅰ	2	1・2	
		数理情報Ⅱ	2	1・2	
		経済数学	2	2・3	
演習科目		プロジェクト演習入門Ⅰ	2	2・3・4	※ これらの演習科目について2年次で履修できる単位数は4単位までである。
		プロジェクト演習入門Ⅱ	2	2・3・4	
		■　地域スポーツ演習	2	2・3・4	
		■　生涯スポーツ演習	2	2・3・4	
		■　健康スポーツキャリア演習Ａ	2	2・3・4	
		■　健康スポーツキャリア演習Ｂ	2	2・3・4	
		プロジェクト演習Ⅰ	2	3・4	※ プロジェクト演習Ⅰ、Ⅱとスポーツビジネスキャリア演習A,Bを同時履修することはできない。
		プロジェクト演習Ⅱ	2	3・4	
		□　スポーツビジネスキャリア演習Ａ	2	2・3・4	※
		□　スポーツビジネスキャリア演習Ｂ	2	2・3・4	
		ゼミナールⅠ	2	3・4	ゼミナールⅠと数理代数特別演習、ゼミナールⅡと構造幾何特別演習は、同一年度に履修できない。
		ゼミナールⅡ	2	3・4	
		数理代数特別演習	2	3・4	
		構造幾何特別演習	2	3・4	
		特定課題演習/研究Ⅰ	1	4	原則として、Ⅰを修得しないとⅡを履修出来ない。原則として、Ⅰ･Ⅱは同一担当者で履修すること。
		特定課題演習/研究Ⅱ	1	4	
		卒業研究Ⅰ	3	4	原則として、Ⅰを修得しないとⅡを履修出来ない。原則として、Ⅰ･Ⅱは同一担当者で履修すること。
		卒業研究Ⅱ	3	4	
自コースリエゾン科目	リエゾンB（社会・人間）科目	合理的思考と社会行動	2	2・3・4	
		社会心理学	2	2・3・4	
		ワークショップデザイン	2	2・3・4	※
		社会学	2	2・3・4	
		現代の世界と日本	2	2・3・4	
		コミュニケーション心理学	2	2・3・4	
		確率統計	2	2・3・4	
		ジャーナリズム	2	2・3・4	

社会・人間コース　　（太字は必修）

科目区分		授業科目	単位	履修年次	備　考
自コースリエゾン科目	リエゾンB（社会・人間）科目	意思決定理論と実践	2	2・3・4	
		リーダシップの理論と実践	2	2・3・4	
		観光経済論	2	3・4	
		行政学	2	2・3・4	
		社会・人間特別講義A	2	3・4	
		社会・人間特別講義B	2	2・3・4	
他コースリエゾン科目	リエゾンA（社会・情報）科目	情報社会論	2	2・3・4	
		情報産業論	2	2・3・4	
		情報リスク論	2	2・3・4	
		広報論	2	2・3・4	
		リスクマネジメント論	2	2・3・4	
		システム分析・設計基礎	2	2・3・4	※
		システム分析・設計基礎演習	2	2・3・4	
		システム分析・設計応用	2	3・4	
		情報倫理	2	2・3・4	
		情報化社会と法	2	2・3・4	
		情報政策	2	2・3・4	
		社会・情報特別講義A	2	2・3・4	
		社会・情報特別講義B	2	2・3・4	
	リエゾンC（人間・情報）科目	マルチメディア学習論	2	2・3・4	
		ネット社会とコミュニティ	2	2・3・4	
		ヒューマンインタフェース	2	2・3・4	
		メディアコミュニケーション	2	2・3・4	
		メディア論	2	2・3・4	
		情報デザイン	2	2・3・4	
		メディアコンテンツ制作	2	2・3・4	
		コンテンツマネジメント	2	2・3・4	
		人間・情報特別講義A	2	2・3・4	
		人間・情報特別講義B	2	2・3・4	
自コースエリア科目	エリア（社会）科目	マクロ経済学Ⅰ	2	2・3・4	
		ミクロ経済学Ⅰ	2	2・3・4	
		経営学	2	2・3・4	
		会計学	2	2・3・4	
		マクロ経済政策	2	3・4	
		ミクロ経済政策	2	3・4	
		ミクロ経済学Ⅱ	2	2・3・4	
		マクロ経済学Ⅱ	2	2・3・4	
		証券市場Ⅰ	2	2・3・4	
		証券市場Ⅱ	2	2・3・4	
		経済解析	2	2・3・4	
		経営分析	2	2・3・4	
		経営戦略論	2	2・3・4	
		公共経済学	2	2・3・4	
		金融論	2	2・3・4	
		国際ファイナンス	2	3・4	
		数理ファイナンス	2	2・3・4	
		コーポレートファイナンス	2	2・3・4	
		コーポレートガバナンス	2	3・4	
		インベストメント	2	2・3・4	
		デリバティブズ	2	2・3・4	
		エネルギー経済論	2	2・3・4	
		国際エネルギー論	2	2・3・4	

社会・人間コース　　（太字は必修）

科目区分		授業科目	単位	履修年次	備　考
自コースエリア科目	エリア（社会）科目	計量経済学	2	2・3・4	※
		計量経済学演習	2	2・3・4	※
		現象の数理演習	1	2・3・4	※
		現象の数理	2	2・3・4	
		グローバルビジネス	2	2・3・4	
	エリア（人間）科目	人間科学研究法	2	2・3・4	
		認知心理学	2	2・3・4	
		学習心理学	2	2・3・4	
		文化心理学	2	2・3・4	
		発達心理学	2	2・3・4	
		心理学演習	2	2・3・4	
		スポーツと心の科学	2	3・4	
他コースエリア科目	エリア（情報）科目	離散数学	2	2・3・4	
		プログラミング基礎	2	2・3・4	※
		プログラミング基礎演習	2	2・3・4	
		オブジェクト指向プログラミング	2	2・3・4	※
		オブジェクト指向プログラミング演習	2	2・3・4	
		データベース基礎	2	2・3・4	
		コンピュータネットワーク基礎	2	2・3・4	
		ウェブコンテンツ作成演習	2	2・3・4	
		ウェブテクノロジー	2	2・3・4	
		情報科学基礎	2	2・3・4	
		アルゴリズムとデータ構造	2	2・3・4	
		数理代数Ⅰ	2	3・4	
		数理代数Ⅰ演習	1	3・4	※
		人工知能基礎	2	3・4	
		情報システム計画	2	3・4	
		情報システム演習	2	3・4	
		情報セキュリティ	2	3・4	
		情報科学総合演習	2	3・4	
		ウェブプログラミング演習	2	3・4	
		データベースシステム	2	3・4	
		ネットワーク構築演習	2	3・4	
		サーバー構築演習	2	3・4	
		ウェブ論	2	3・4	
専門自由科目		数学入門	2	1	
		社会数理Ⅰ演習	1	1・2	※
		社会数理Ⅱ演習	1	1・2	※
		数理情報Ⅰ演習	1	1・2	※
		数理情報Ⅱ演習	1	1・2	※
		数の歴史	2	2・3・4	
		数理解析基礎	2	2・3・4	
		数理解析基礎演習	1	2・3・4	※
		構造幾何Ⅰ	2	2・3・4	
		構造幾何Ⅰ演習	1	2・3・4	※
		社会調査法Ⅱ	2	2・3・4	
		複素解析	2	3・4	
		複素解析演習	1	3・4	※
		数理代数Ⅱ	2	3・4	
		構造幾何Ⅱ	2	3・4	
		構造幾何Ⅱ演習	1	3・4	※
		集合と位相	2	3・4	

社会・人間コース　　**（太字は必修）**

科目区分	授業科目	単位	履修年次	備　考
専門自由科目	集合と位相演習	1	3・4	※
	コミュニティサービス	2	2・3・4	
	コミュニケーションデザイン実践	2	2・3・4	
	ワークショップデザイン実践	2	2・3・4	
	スポーツキャリア基礎 A	1	2・3・4	
	スポーツキャリア基礎 B	1	2・3・4	
	スポーツ健康科学基礎	1	2・3・4	
	スポーツ傷害学基礎	1	2・3・4	
	健康スポーツ統計学基礎	1	2・3・4	
	スポーツ倫理学基礎	1	2・3・4	
	社会資格講義	2	3・4	NPO 法人世界遺産アカデミー寄附講座
	地方行政と産業振興～さがみはら～	2	1・2・3・4	相模原市寄附講座
	インターンシップ	2	2・3・4	卒業要件外
	ウェブサービス構築	2	2・3・4	ニフティ㈱寄附講座 卒業要件外
	情報と職業	2	2・3・4	注１）卒業要件外

注１）「情報と職業」は教職申請者のみ履修を認めます。

コース別専門科目配置表

(3) 人間・情報コース

〔備考欄に「※」のある科目は、後述「【5】専門科目履修にあたっての条件」を参照のこと。〕

■□の演習科目について
これらの科目は体育会所属学生、または競技スポーツにおいて一定の基準以上の経験を有し、特別に許可された学生のみ履修許可される。

人間・情報コース　　（太字は必修）

科目区分		授業科目	単位	履修年次	備　考
フルリエゾン科目		**社会情報体験演習**	**2**	**1**	
		ソリューション入門	**2**	**1**	
		経済学概論	**2**	**1**	
		情報科学概論	**2**	**1**	
		人間科学概論	**2**	**1**	
		ソリューション応用	**2**	**2**	
基礎科目		**コミュニケーション基礎**	**2**	**1**	
		コンピュータ実習	**2**	**1**	
		統計入門	**4**	**1**	
		データ分析	2	2・3	※
		データ分析演習	2	2・3	※
		社会統計	2	2・3	
		社会統計演習	2	2・3	※
		社会調査法Ⅰ	2	2・3	
		プロジェクトマネジメント	2	2・3	
		時事英語	2	2・3	
		社会調査実習	2	3・4	※
		データマイニング	2	3・4	
		データマイニング演習	2	3・4	
基礎科目（数理系）		社会数理入門	2	1	
		社会数理Ⅰ	2	1・2	
		社会数理Ⅱ	2	1・2	
		数理情報Ⅰ	2	1・2	
		数理情報Ⅱ	2	1・2	
		経済数学	2	2・3	
演習科目		プロジェクト演習入門Ⅰ	2	2・3・4	※ これらの演習科目について2年次で履修できる単位数は4単位までである。
		プロジェクト演習入門Ⅱ	2	2・3・4	
		■　地域スポーツ演習	2	2・3・4	
		■　生涯スポーツ演習	2	2・3・4	
		■　健康スポーツキャリア演習Ａ	2	2・3・4	
		■　健康スポーツキャリア演習Ｂ	2	2・3・4	
		プロジェクト演習Ⅰ	2	3・4	※ プロジェクト演習Ⅰ、Ⅱとスポーツビジネスキャリア演習A、Bを同時履修することはできない。
		プロジェクト演習Ⅱ	2	3・4	
		□　スポーツビジネスキャリア演習Ａ	2	2・3・4	※
		□　スポーツビジネスキャリア演習Ｂ	2	2・3・4	
		ゼミナールⅠ	2	3・4	ゼミナールⅠと数理代数特別演習、ゼミナールⅡと構造幾何特別演習は、同一年度に履修できない。
		ゼミナールⅡ	2	3・4	
		数理代数特別演習	2	3・4	
		構造幾何特別演習	2	3・4	
		特定課題演習/研究Ⅰ	1	4	原則として、Ⅰを修得しないとⅡを履修出来ない。原則として、Ⅰ･Ⅱは同一担当者で履修すること。
		特定課題演習/研究Ⅱ	1	4	
		卒業研究Ⅰ	3	4	原則として、Ⅰを修得しないとⅡを履修出来ない。原則として、Ⅰ･Ⅱは同一担当者で履修すること。
		卒業研究Ⅱ	3	4	
自コースリエゾン科目	リエゾンC（人間・情報）科目	マルチメディア学習論	2	2・3・4	
		ネット社会とコミュニティ	2	2・3・4	
		ヒューマンインタフェース	2	2・3・4	
		メディアコミュニケーション	2	2・3・4	
		メディア論	2	2・3・4	
		情報デザイン	2	2・3・4	
		メディアコンテンツ制作	2	2・3・4	
		コンテンツマネジメント	2	2・3・4	

人間・情報コース　　（太字は必修）

科目区分		授業科目	単位	履修年次	備　考
		人間・情報特別講義Ａ	2	2・3・4	
		人間・情報特別講義Ｂ	2	2・3・4	
他コースリエゾン科目	リエゾンＡ（社会・情報）科目	情報社会論	2	2・3・4	
		情報産業論	2	2・3・4	
		情報リスク論	2	2・3・4	
		広報論	2	2・3・4	
		リスクマネジメント論	2	2・3・4	
		システム分析・設計基礎	2	2・3・4	※
		システム分析・設計基礎演習	2	2・3・4	
		システム分析・設計応用	2	3・4	
		情報倫理	2	2・3・4	
		情報化社会と法	2	2・3・4	
		情報政策	2	2・3・4	
		社会・情報特別講義Ａ	2	2・3・4	
		社会・情報特別講義Ｂ	2	2・3・4	
	リエゾンＢ（社会・人間）科目	合理的思考と社会行動	2	2・3・4	
		社会心理学	2	2・3・4	
		ワークショップデザイン	2	2・3・4	※
		社会学	2	2・3・4	
		現代の世界と日本	2	2・3・4	
		コミュニケーション心理学	2	2・3・4	
		確率統計	2	2・3・4	
		ジャーナリズム	2	2・3・4	
		意思決定理論と実践	2	2・3・4	
		リーダシップの理論と実践	2	2・3・4	
		観光経済論	2	3・4	
		行政学	2	2・3・4	
		社会・人間特別講義Ａ	2	3・4	
		社会・人間特別講義Ｂ	2	2・3・4	
自コースエリア科目	エリア（情報）科目	離散数学	2	2・3・4	
		プログラミング基礎	2	2・3・4	※
		プログラミング基礎演習	2	2・3・4	
		オブジェクト指向プログラミング	2	2・3・4	※
		オブジェクト指向プログラミング演習	2	2・3・4	
		データベース基礎	2	2・3・4	
		コンピュータネットワーク基礎	2	2・3・4	
		ウェブコンテンツ作成演習	2	2・3・4	
		ウェブテクノロジー	2	2・3・4	
		情報科学基礎	2	2・3・4	
		アルゴリズムとデータ構造	2	2・3・4	
		数理代数Ｉ	2	3・4	
		数理代数Ｉ演習	1	3・4	※
		人工知能基礎	2	3・4	
		情報システム計画	2	3・4	
		情報システム演習	2	3・4	
		情報セキュリティ	2	3・4	
		情報科学総合演習	2	3・4	
		ウェブプログラミング演習	2	3・4	
		データベースシステム	2	3・4	
		ネットワーク構築演習	2	3・4	
		サーバー構築演習	2	3・4	
		ウェブ論	2	3・4	

人間・情報コース　　（太字は必修）

科目区分		授業科目	単位	履修年次	備　考
自コースエリア科目	エリア（人間）科目	人間科学研究法	2	2・3・4	
		認知心理学	2	2・3・4	
		学習心理学	2	2・3・4	
		文化心理学	2	2・3・4	
		発達心理学	2	2・3・4	
		心理学演習	2	2・3・4	
		スポーツと心の科学	2	3・4	
他コースエリア科目	エリア（社会）科目	マクロ経済学Ⅰ	2	2・3・4	
		ミクロ経済学Ⅰ	2	2・3・4	
		経営学	2	2・3・4	
		会計学	2	2・3・4	
		マクロ経済政策	2	3・4	
		ミクロ経済政策	2	3・4	
		ミクロ経済学Ⅱ	2	2・3・4	
		マクロ経済学Ⅱ	2	2・3・4	
		証券市場Ⅰ	2	2・3・4	
		証券市場Ⅱ	2	2・3・4	
		経済解析	2	2・3・4	
		経営分析	2	2・3・4	
		経営戦略論	2	2・3・4	
		公共経済学	2	2・3・4	
		金融論	2	2・3・4	
		国際ファイナンス	2	3・4	
		数理ファイナンス	2	2・3・4	
		コーポレートファイナンス	2	2・3・4	
		コーポレートガバナンス	2	3・4	
		インベストメント	2	2・3・4	
		デリバティブズ	2	2・3・4	
		エネルギー経済論	2	2・3・4	
		国際エネルギー論	2	2・3・4	
		計量経済学	2	2・3・4	※
		計量経済学演習	2	2・3・4	※
		現象の数理演習	1	2・3・4	※
		現象の数理	2	2・3・4	
		グローバルビジネス	2	2・3・4	
専門自由科目		数学入門	2	1	
		社会数理Ⅰ演習	1	1・2	※
		社会数理Ⅱ演習	1	1・2	※
		数理情報Ⅰ演習	1	1・2	※
		数理情報Ⅱ演習	1	1・2	※
		数の歴史	2	2・3・4	
		数理解析基礎	2	2・3・4	
		数理解析基礎演習	1	2・3・4	※
		構造幾何Ⅰ	2	2・3・4	
		構造幾何Ⅰ演習	1	2・3・4	※
		社会調査法Ⅱ	2	2・3・4	
		複素解析	2	3・4	
		複素解析演習	1	3・4	※
		数理代数Ⅱ	2	3・4	
		構造幾何Ⅱ	2	3・4	
		構造幾何Ⅱ演習	1	3・4	※
		集合と位相	2	3・4	
		集合と位相演習	1	3・4	※

人間・情報コース　　（太字は必修）

科目区分	授業科目	単位	履修年次	備　考
専門自由科目	コミュニティサービス	2	2・3・4	
	コミュニケーションデザイン実践	2	2・3・4	
	ワークショップデザイン実践	2	2・3・4	
	スポーツキャリア基礎 A	1	2・3・4	
	スポーツキャリア基礎 B	1	2・3・4	
	スポーツ健康科学基礎	1	2・3・4	
	スポーツ傷害学基礎	1	2・3・4	
	健康スポーツ統計学基礎	1	2・3・4	
	スポーツ倫理学基礎	1	2・3・4	
	社会資格講義	2	3・4	NPO 法人世界遺産アカデミー寄附講座
	地方行政と産業振興～さがみはら～	2	1・2・3・4	相模原市寄附講座
	インターンシップ	2	2・3・4	卒業要件外
	ウェブサービス構築	2	2・3・4	ニフティ㈱寄附講座 卒業要件外
	情報と職業	2	2・3・4	注１）卒業要件外

注１）「情報と職業」は教職申請者のみ履修を認めます。

【５】 専門科目履修にあたっての条件

以下の条件を確認のうえ、履修をしてください。

授業科目	履修年次	履修にあたっての条件
データ分析	2・3	「統計入門」を単位修得済であることを履修登録の条件とする。
データ分析演習	2・3	「データ分析」を履修登録中であるか、あるいは単位修得済であることを履修登録の条件とする。
社会統計演習	2・3	「社会統計」を履修登録中であるか、あるいは単位修得済であることを履修登録の条件とする。
社会調査実習	3・4	「統計入門」、「社会統計」、「社会統計演習」、「社会調査法Ⅰ」、「社会調査法Ⅱ」の５科目のうち、２科目単位修得済であること。
プロジェクト演習入門Ⅰ	2・3	「プロジェクト演習入門Ⅱ」を履修するためには、「プロジェクト演習入門Ⅰ」の単位を修得していることが前提となる。「プロジェクト演習入門Ⅰ」を登録すると「プロジェクト演習入門Ⅱ」も自動的に登録される。
プロジェクト演習Ⅰ	3・4	「プロジェクト演習Ⅱ」を履修するためには、「プロジェクト演習Ⅰ」の単位を修得していることが前提となる。「プロジェクト演習Ⅰ」を登録すると「プロジェクト演習Ⅱ」も自動的に登録される。
スポーツビジネス キャリア演習Ａ	2・3・4	「スポーツビジネスキャリア演習Ｂ」を履修するためには「スポーツビジネスキャリア演習Ａ」の単位を取得していることが前提となる。「スポーツビジネスキャリア演習Ａ」を登録すると、「スポーツビジネスキャリア演習Ｂ」も自動的に登録される。
システム分析・設計基礎	2・3・4	「システム分析・設計基礎」を履修登録すると、必ず「システム分析・設計基礎演習」も自動的に登録される。
ワークショップデザイン	2・3・4	「ワークショップデザイン」を履修登録すると、「メディアコミュニケーション」が自動的に履修登録される。
計量経済学	2・3・4	「統計入門」を単位修得済であることを履修登録の条件とする。
計量経済学演習	2・3・4	「計量経済学」を単位修得済であることを履修登録の条件とする。
現象の数理演習	2・3・4	「現象の数理」を履修登録中であるか、あるいは単位修得済であることを履修登録の条件とする。
プログラミング基礎	2・3・4	「プログラミング基礎」を履修登録すると、「プログラミング基礎演習」も自動的に登録される。
オブジェクト指向 プログラミング	2・3・4	「オブジェクト指向プログラミング」を履修登録すると、「オブジェクト指向プログラミング演習」も自動的に登録される。
数理代数Ⅰ演習	3・4	「数理代数Ⅰ」を履修登録中であるか、あるいは単位修得済であることを履修登録の条件とする。
社会数理Ⅰ演習	1・2	「社会数理Ⅰ」を履修登録中であるか、あるいは単位修得済であることを履修登録の条件とする。
社会数理Ⅱ演習	1・2	「社会数理Ⅱ」を履修登録中であるか、あるいは単位修得済であることを履修登録の条件とする。
数理情報Ⅰ演習	1・2	「数理情報Ⅰ」を履修登録中であるか、あるいは単位修得済であることを履修登録の条件とする。
数理情報Ⅱ演習	1・2	「数理情報Ⅱ」を履修登録中であるか、あるいは単位修得済であることを履修登録の条件とする。
数理解析基礎演習	2・3・4	「数理解析基礎」を履修登録中であるか、あるいは単位修得済であることを履修登録の条件とする。
構造幾何Ⅰ演習	2・3・4	「構造幾何Ⅰ」を履修登録中であるか、あるいは単位修得済であることを履修登録の条件とする。
複素解析演習	3・4	「複素解析」を履修登録中であるか、あるいは単位修得済であることを履修登録の条件とする。
構造幾何Ⅱ演習	3・4	「構造幾何Ⅱ」を履修登録中であるか、あるいは単位修得済であることを履修登録の条件とする。
集合と位相演習	3・4	「集合と位相」を履修登録中であるか、あるいは単位修得済であることを履修登録の条件とする。

【６】 自由選択科目履修方法

自由選択科目履修方法

⑴ 自由選択科目の必要単位

選　　択〔18単位〕

下記の（イ）（ロ）（ハ）（ニ）のうちから任意に18単位修得しなければなりません。ただし、卒業要件外科目は除きます。

（イ） 青山スタンダード科目
（ロ） 外国語科目
（ハ） 自学部専門科目
（ニ） 他学部科目

（卒業に必要な単位を超えて修得した単位は、自由選択科目に算入されます。）

※ （ハ） 自学部専門科目における選択必修科目について、それぞれの科目の卒業に必要な単位を超えて修得した単位は、「自コースエリゾン科目」を除いて自由選択科目に算入されます。（「自コースリエゾン科目」の必要単位10単位を超えて修得した場合のみ「自コースエリア科目」に算入されます。）

注意：他キャンパス開講科目を履修する際には、キャンパス間の移動時間に注意して下さい。（「Ⅲ．履修について　１．履修計画」を参照。）

○社会調査士の資格取得について

以下の７科目の単位を取得すると、社会情報学部を卒業するときに、一般社団法人社会調査協会の認定する社会調査士の資格を申請することができます（有料）。

・統計入門
・社会調査法Ⅰ
・社会調査法Ⅱ
・社会統計
・社会統計演習
・社会調査実習
・社会・人間特別講義Ａ

大学在学中（３年次以降）には「社会調査士（取得見込み）」（有料）が発行されます。
上記科目から３科目以上の単位を取得し、履修中の単位とあわせて５科目以上（ただし、「社会調査実習」と「社会･人間特別講義Ａ」は、２つあわせて１科目と数えます）となることが条件です。

申請方法等については、社会情報学部　社会調査士担当教員に相談してください。

Ｂ. 他学部科目一覧表

B．他学部科目一覧表

他学部科目の履修について

他学部科目のうち本学部学生が履修可能な科目の一覧表を以下に掲載します。
履修については下記の点に注意してください。

1．一覧表は他学部が本学部に対して履修可能としている科目を掲載しています。なお、「担当者氏名」及び「本年度休講」の掲載はしていませんので講義内容および授業時間割表にて確認してください。履修希望科目が講義内容および授業時間割表に掲載されていない場合は本年度休講となっています。
また、年度により一覧表の科目のうち履修を認めないなどの措置をとることがあります。
2．本学部では入学年度によって他学部科目の卒業要件単位に含まれる条件が異なる場合がありますので、授業要覧で確認のうえ履修してください。
3．今後、各部の状況により変更が生じる場合がありますので、履修する際は自学部窓口にて確認をしてください。

文学部共通科目

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
芸術文化論	4	2・3・4	文化財科学	4	2・3・4	日本の思想	4	2・3・4
東洋の思想	4	2・3・4	現代思想	4	2・3・4	日本美術史	4	2・3・4
東洋美術史	4	2・3・4	西洋美術史	4	2・3・4	日本文化史	4	2・3・4
東洋文化史	4	2・3・4	西洋文化史	4	2・3・4	映像文化論A	2	2・3・4
映像文化論B	2	2・3・4	東洋音楽史	4	2・3・4	西洋音楽史	4	2・3・4
生命倫理学	4	2・3・4	詩論	4	2・3・4	ギリシャ・ローマ文学	4	2・3・4
テクスト論	4	2・3・4	物語文学	4	2・3・4	キリスト教文学	4	2・3・4
世界各地域の文学A	4	2・3・4	世界各地域の文学B	4	2・3・4	世界各地域の文学C	4	2・3・4
児童文学	4	2・3・4	比較文学	4	2・3・4	言語学概論	4	2・3・4
比較言語学	4	2・3・4	記号論	4	2・3・4	古典ギリシャ語Ⅰ	4	2・3・4
古典ギリシャ語Ⅱ	4	2・3・4	ラテン語入門	4	2・3・4	ラテン語Ⅰ	4	2・3・4
ラテン語Ⅱ	4	2・3・4	出版ジャーナリズム	4	2・3・4	放送ジャーナリズム	4	2・3・4
認知言語学	4	2・3・4	精神分析学入門	4	2・3・4	心理言語学	4	2・3・4
イタリアの言語と文化Ⅰ	4	2・3・4	イタリアの言語と文化Ⅱ	4	2・3・4	通訳ワークショップ(1)	2	3・4
通訳ワークショップ(2)	2	3・4						

文学部英米文学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
イギリス文学史	4	1・2	イギリス文学概論	4	1・2	イギリス文化概論	4	1・2
アメリカ文学史	4	1・2	アメリカ文学概論	4	1・2	アメリカ文化概論	4	1・2
グローバル文学・文化概論	4	1・2	グローバル文学理論	4	1・2	英語学概論	4	1・2
英語史	4	1・2	英文法	4	1・2	英語教育学概論	4	1・2
イギリス文学特講	4	3・4	イギリス文化特講	4	3・4	アメリカ文学特講	4	3・4
アメリカ文化特講	4	3・4	グローバル文学特講	4	3・4	グローバル文化特講	4	3・4
英語学特講	4	3・4	言語学特講	4	3・4	コミュニケーション特講	4	3・4
英語教育学特講	4	3・4	英詩概論	4	3・4	イギリス事情	4	3・4
アメリカ事情	4	3・4	英語聖書	4	3・4	メディアイングリッシュⅠ	2	3・4

文学部フランス文学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
※フランス語会話	4	1	フランス文学研究	4	3・4	フランス語学研究	4	3・4
フランス文化研究	4	3・4	講読演習	4	3・4	エクスプリカシオン(A)	4	3・4
エクスプリカシオン(B)	4	3・4	コミュニカシオンⅠ	4	3・4	コミュニカシオンⅡ	4	3・4
エクスプレシオン・エクリットⅡ	4	3・4	エクスプレシオン・エクリットⅢ	4	3・4	フランス文学特講	4	2・3・4
フランス語学特講	4	2・3・4	フランス文化特講	4	2・3・4	フランス文学演習Ⅰ	4	2・3
フランス語学演習Ⅰ	4	2・3	フランス文化演習Ⅰ	4	2・3	フランス文学演習Ⅱ	4	3・4
フランス語学演習Ⅱ	4	3・4	フランス文化演習Ⅱ	4	3・4	フランス語教授法Ⅰ	4	3・4
フランス語教授法Ⅱ	4	3・4	フランス語作文	4	2・3・4	フランス語学概論	4	2・3・4

※既修得者用クラスのみ履修可

文学部日本文学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
日本文学史(一)	2	1	日本文学史(二)	2	1	日本文学史(三)	2	2
日本文学史(四)	2	2	古典文学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2	近代文学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2
漢文学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2	日本語学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2	日本語史Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2
表象文化研究概論Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2	日本学入門	2	1・2	文学交流入門	2	1・2
日本文学講読Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2	中国古典文学講読Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2	日本語学講読Ⅰ・Ⅱ	各2	1・2
表象文化論Ⅰ・Ⅱ	各2	2・3・4	日本文学特講Ⅰ・Ⅱ	各2	2・3・4	日本文学特講A・B	各2	1・2・3・4
中国古典文学特講Ⅰ・Ⅱ	各2	2・3・4	中国文学・思想特講Ⅰ・Ⅱ	各2	2・3・4	日本語学特講Ⅰ・Ⅱ	各2	2・3・4
文学交流特講A・B	各2	2・3・4	日本文学研究のための英語A・B	2	1・2	日本文学とアメリカ・ヨーロッパ	2	2・3・4
日本文学とアジア	2	2・3・4	書理論Ⅰ・Ⅱ	各2	2・3・4			

文学部史学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
人文地理学概論	4	3・4	日本史特講	4	2・3・4	東洋史特講	4	2・3・4
西洋史特講	4	2・3・4	考古学特講	4	2・3・4	史学特講A	4	1・2・3・4
史学特講B	4	1・2・3・4	自然地理学概論	2	2・3・4	地誌学	2	2・3・4
法律学	2	2・3・4	政治学	2	2・3・4	※博物館概論	2	2・3のみ
※博物館経営論	2	2・3のみ	※博物館資料論	2	2・3のみ	※博物館資料保存論	2	2・3・4
※博物館展示論	2	2・3・4	※博物館情報・メディア論	2	2・3・4	※博物館教育論	2	2・3・4
※博物館実習Ⅰ	2	3のみ	※博物館実習Ⅱ	2	4			

※学芸員希望者のみ

文学部比較芸術学科

他学部・他学科生は3年次以上の学生が履修可

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
比較芸術学特講Ⅰ	2	3・4	比較芸術学特講Ⅱ	2	3・4	比較芸術学特講Ⅲ	2	3・4
美学・芸術思想	4	3・4	西洋の宗教と芸術	4	3・4	日本・東洋の宗教と芸術	4	3・4
伝統デザイン論	4	3・4	※博物館実習Ⅰ	2	3のみ	※博物館実習Ⅱ	2	4

※学芸員希望者のみ

他学部科目一覧表

教育人間科学部教育学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
西洋教育史Ⅰ	2	3・4	西洋教育史Ⅱ	2	3・4	西洋教育史Ⅲ	2	3・4
教育史特殊講義	2	3・4	発達と文化A	2	3・4	発達と文化B	2	3・4
教育哲学A	2	3・4	教育哲学B	2	3・4	教育学特論A	2	3・4
教育学特論B	2	3・4	キャリア教育B	2	3・4	比較教育学	2	3・4
異文化理解教育	2	3・4	老年学	2	3・4	教育学特論C	2	3・4
教育学特論D	2	3・4	臨床心理学概論Ⅰ	2	2	臨床心理学概論Ⅱ	2	2
小児精神神経学	2	3・4	相談心理学Ⅰ	2	3・4	相談心理学Ⅱ	2	3・4
特別支援教育	2	3・4	教育学特論E	2	3・4	教育学特論F	2	3・4
生涯学習概論Ⅰ	2	2	生涯学習概論Ⅱ	2	2	高等教育論A	2	3・4
高等教育論B	2	3・4	社会教育計画Ⅰ	2	3・4	社会教育計画Ⅱ	2	3・4
社会教育課題研究※1	4	3・4	高齢化社会と教育	2	3・4	青年期と教育	2	3・4
ジェンダーと教育	2	3・4	青年文化論	2	3・4	ボランティア教育論	2	3・4
地域ネットワーキング論	2	3・4	スポーツ･レクリエーション論	2	3・4	教育学特論G	2	3・4
教育学特論H	2	3・4	認知科学概論	2	3・4	学校経営と学校図書館	2	2
視聴覚教育メディア論	2	3・4	インターフェース論	2	3・4	知的表現論	2	3・4
教材開発論	2	3・4	学習指導と学校図書館	2	3・4	学校図書館メディア	2	3・4
情報メディア利用論	2	3・4	読書教育論	2	3・4	学習心理学Ⅰ	2	3・4
学習心理学Ⅱ	2	3・4	社会心理学Ⅰ	2	3・4	社会心理学Ⅱ	2	3・4
教育学特論Ⅰ	2	3・4	教育学特論J	2	3・4	図書館情報学概論	2	2
図書館システムサービス論	2	2	図書館情報文化論	2	2	図書館システム経営論	2	3・4
情報メディア論A	2	2	情報メディア論B	2	3・4	情報メディア論C	2	3・4
児童サービス論	2	3・4	メディア組織法Ⅰ	2	3・4	メディア組織法Ⅱ※2	2	3・4
メディア組織法Ⅲ※2	2	3・4	情報サービス論Ⅰ	2	3・4	情報サービス論Ⅱ	2	3・4
情報サービス論Ⅲ	2	3・4	情報技術論	2	2・3・4	図書館情報学実習※2	2	4
教育学特論K	2	3・4	教育学特論L	2	3・4	幼児教育原理B	2	1・2
児童福祉論	2	3・4	小児保健論	2	3・4	教育学特論M	2	3・4
教育学特論N	2	3・4	小児栄養学	2	3・4	教育学特論O	2	3・4
教育学特論P	2	3・4	教育学特論Q	2	3・4	教育学特論R	2	3・4
初等英語概説A	2	3・4	初等英語概説B	2	3・4	教育学特論S	2	3・4
教育学特論T	2	3・4	キリスト教学校論	2	3・4	聖書の世界(旧約)	2	3・4
聖書の世界(新約)	2	3・4	キリスト教の教理	2	3・4	キリスト教と法思想	2	3・4
宗教と社会	2	3・4	礼拝学	2	3・4	キリスト教メンタルヘルス	2	3・4

※1社会教育主事資格取得希望申請者のみ
※2司書資格取得希望申請者のみ

教育人間科学部心理学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
心理統計実習	2	3・4	哲学的認識論	4	3・4	心の哲学	4	3・4
心理学史	2	3・4	学習心理学	4	3・4	発達心理学	4	1・2
生涯発達心理学Ⅰ	2	2	生涯発達心理学Ⅱ	2	2	生涯発達論	2	3・4
知覚心理学	2	2	認知心理学	4	3・4	音楽心理学	2	3・4
感情心理学	2	3・4	神経心理学	2	3・4	人格心理学	4	3・4
犯罪心理学	4	3・4	社会心理学	4	3・4	社会心理学Ⅰ	2	3・4
社会心理学Ⅱ	2	3・4	産業心理学	2	3・4	広告心理学	2	3・4
ノンバーバル・コミュニケーションⅠ	2	3・4	ノンバーバル・コミュニケーションⅡ	2	3・4	応用社会心理学特講Ⅰ	2	3・4
応用社会心理学特講Ⅱ	2	3・4	応用社会心理学特講Ⅲ	2	3・4	応用社会心理学特講Ⅳ	2	3・4
応用社会心理学特講Ⅴ	2	3・4	応用社会心理学特講Ⅵ	2	3・4	心理学特講A	2	3・4
学校心理学	2	3・4	臨床心理学	4	2	臨床心理学Ⅰ	2	3・4
臨床心理学Ⅱ	2	3・4	臨床心理学特講	4	3・4	精神分析学	2	3・4
精神医学	4	3・4	音楽療法	2	3・4	相談心理学	4	3・4
家族心理学	2	3・4	健康心理学	2	3・4	コミュニティ心理学	2	3・4
障害児・者の心理Ⅱ	2	3・4	障害児・者の教育	2	3・4	障害児・者の福祉	2	3・4
障害児・者の医学	2	3・4	心理面接法	4	3・4	心理療法実習A	2	3・4
応用行動分析	2	3・4	身体医学	2	3・4	心身医学	2	3・4
薬理学	2	3・4	脳生理学	2	3・4	精神衛生	2	3・4
母子保健	2	3・4	成人・高齢者保健	2	3・4	精神保健福祉	2	3・4
保健・医療・福祉・制度論	2	3・4	社会保障制度と関連法規	2	3・4	心理学原書講読A	2	3・4
心理学原書講読B	2	3・4						

他学部科目一覧表

経済学部
経済学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
統計学概論Ⅰ	2	1	統計学概論Ⅱ	2	1	国際経済学Ⅰ	2	2
国際経済学Ⅱ	2	2	経済学史Ⅰ	2	2	経済学史Ⅱ	2	2
応用ミクロ経済学Ⅰ	2	3	応用ミクロ経済学Ⅱ	2	3	経済動学Ⅰ	2	2
経済動学Ⅱ	2	2	オープンマクロ経済学Ⅰ	2	3	オープンマクロ経済学Ⅱ	2	3
経済統計Ⅰ	2	3	経済統計Ⅱ	2	3	数理統計Ⅰ	2	2
数理統計Ⅱ	2	2	経済数学Ⅰ	2	2	経済数学Ⅱ	2	2
社会政策論Ⅰ	2	3	社会政策論Ⅱ	2	3	社会保障論Ⅰ	2	3
社会保障論Ⅱ	2	3	産業論（損害保険業）	2	3	産業論（航空事業Ⅰ）	2	3
産業論（航空事業Ⅱ）	2	3	産業論（税法）	2	3	産業論（証券ビジネス）	2	3
産業論(知的エンタテイメント産業Ⅰ)	2	3	産業論(知的エンタテイメント産業Ⅱ)	2	3	労働経済論Ⅰ	2	3
労働経済論Ⅱ	2	3	産業組織論Ⅰ	2	3	産業組織論Ⅱ	2	3
国際金融論Ⅰ	2	3	国際金融論Ⅱ	2	3	日本経済史Ⅰ	2	2
日本経済史Ⅱ	2	2	欧米経済史Ⅰ	2	2	欧米経済史Ⅱ	2	2
東洋経済史Ⅰ	2	2	東洋経済史Ⅱ	2	2	経済思想史Ⅰ	2	3
経済思想史Ⅱ	2	3	キリスト教社会思想史Ⅰ	2	2	キリスト教社会思想史Ⅱ	2	2
日本経済論Ⅰ	2	2	日本経済論Ⅱ	2	2	世界経済論Ⅰ	2	3
世界経済論Ⅱ	2	3	各国経済論ＡⅠ	2	2	各国経済論ＡⅡ	2	2
各国経済論ＢⅠ	2	2	各国経済論ＢⅡ	2	2	交通経済学Ⅰ	2	3
交通経済学Ⅱ	2	3	農業経済論Ⅰ	2	3	農業経済論Ⅱ	2	3
初級簿記Ⅰ	2	1	初級簿記Ⅱ	2	1	経営史Ⅰ	2	3
経営史Ⅱ	2	3	応用ゲーム理論	2	3	財政学基礎	2	2
行動経済学	2	2	応用マクロ経済学	2	3			

現代経済デザイン学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
公的規制の経済学	2	3	NPO論A	2	3	契約の経済学	2	3
公共政策の経済学	2	3	公共選択論	2	3	NPO論B	2	3
政策と評価A	2	3	法と経済学	2	3	都市再生論	2	3
まちづくりと都市計画	2	3	住宅と不動産の経済学	2	3	郊外地域論	2	3
地域人口論	2	3	経済地理	2	2	経済地誌	2	2
地方財政の経済学I	2	3	地方財政の経済学II	2	3	開発経済学	2	3
政策と評価B	2	3	地域経済学II	2	3	都市経済学	2	3

他学部科目一覧表

法学部

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
裁判論	2	1・2	国際社会と法	2	1・2	インターネット法	2	1・2
法思想史A	2	1・2	法思想史B	2	1・2	近代日本法史	2	1・2
近代西洋法史	2	1・2	法史学A	2	2	法史学B	2	2
法哲学A	2	2	法哲学B	2	2	法社会学A	2	2
法社会学B	2	2	基礎法特論A	2	3・4	基礎法特論B	2	3・4
外国法入門A	2	1・2	外国法入門B	2	1・2	アメリカ法A	2	2
アメリカ法B	2	2	アメリカ法C	2	2	アメリカ法D	2	2
アメリカ法E	2	2	イギリス法A	2	2	イギリス法B	2	2
フランス法A	2	2	フランス法B	2	2	ドイツ法A	2	2
ドイツ法B	2	2	中国法A	2	2	中国法B	2	2
EU法	2	3・4	フランス法・政治文献講読	2	3・4	ドイツ法・政治文献講読	2	3・4
中国法・政治文献講読	2	3・4	憲法A	2	1	憲法B	2	1
憲法C	2	2	憲法D	2	2	行政法A	4	2
行政法B	4	2	行政法C	2	3・4	刑法A	2	2
刑法B	2	2	刑法C	2	3・4	刑法D	2	3・4
国際法A	2	2	国際法B	2	2	国際法C	2	3・4
国際法D	2	3・4	刑事訴訟法A	2	3・4	刑事訴訟法B	2	3・4
刑事政策A	2	3・4	刑事政策B	2	3・4	刑事法特論B	2	3・4
教育法	2	3・4	民法A	4	1	民法B	4	2
民法C	4	2	民法D	4	3・4	民法E	4	3・4
商法C	4	3・4	商法D	4	3・4	商法E	4	3・4
民事訴訟法A	4	3・4	民事訴訟法B	4	3・4	国際民事訴訟法	2	3・4
国際私法A	2	3・4	国際私法B	2	3・4	破産法A	2	3・4
破産法B	2	3・4	知的財産法A	2	3・4	知的財産法B	2	3・4
知的財産法C	2	3・4	知的財産法D	2	3・4	民事法特論A	2	3・4
民事法特論B	2	3・4	民事法特論C	2	3・4	税法A	2	2
税法B	2	3・4	税法C	2	3・4	経済法A	2	3・4
経済法B	2	3・4	労働法A	2	2	労働法B	2	2
労働法C	2	3・4	労働法D	2	3・4	労働法E	2	3・4
国際労働法	2	3・4	社会保障法A	2	3・4	社会保障法B	2	3・4
政治学原論A	2	1・2	政治学原論B	2	1・2	日本政治史A	2	1・2
日本政治史B	2	1・2	政治思想史A	2	2	政治思想史B	2	2
比較政治学	4	2	国際関係論	4	2	政治学特論A	2	2
政治学特論B	2	2	NPO論	2	3・4	ビジネス法入門	2	1・2
消費者法	2	2	銀行取引法	2	2	金融商品取引法	2	3・4
企業法務	2	3・4	国際取引法A	2	3・4	国際取引法B	2	3・4
商事法特論A	2	2	商事法特論C	2	3・4	国際金融法	2	3・4
ファイナンスとデリバティブ	2	3・4	公共政策と法	2	1・2	立法学	2	2
行政学A	2	2	行政学B	2	2	公共政策特論A	2	2
公共政策特論B	2	2	地方自治法	2	3・4	都市法	2	3・4
政治過程論A	2	3・4	政治過程論B	2	3・4	現代法実務論	2	2
ヒューマン・ライツの現場B	2	1・2	環境法A	2	2	環境法B	2	2
人権法特論A	2	2	人権法特論B	2	2	人権法特論C	2	3・4
言論法A	2	3・4	言論法B	2	3・4	国際人権法	2	3・4

経営学部

授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次
経営データ分析のための基礎解析入門Ⅰ	2	1	経営データ分析のための基礎解析入門Ⅱ	2	1	経営データ分析のための線形代数入門Ⅰ	2	1
経営データ分析のための線形代数入門Ⅱ	2	1	商学基礎論Ⅰ	2	1	商学基礎論Ⅱ	2	1
経営史A	2	2	経営史B	2	2	経営管理論Ⅰ	2	2
経営管理論Ⅱ	2	2	経営組織論Ⅰ	2	2	経営組織論Ⅱ	2	2
企業情報戦略Ⅰ	2	2	企業情報戦略Ⅱ	2	2	財務管理論A	2	2
財務管理論B	2	2	事業戦略論Ⅰ	2	2	事業戦略論Ⅱ	2	2
企業分析論	2	2	財務会計論Ⅰ	2	2	財務会計論Ⅱ	2	2
中級簿記Ⅰ	2	2	中級簿記Ⅱ	2	2	原価計算論	2	2
マーケティング論Ⅰ	2	2	マーケティング論Ⅱ	2	2	ファイナンスⅠ	2	2
ファイナンスⅡ	2	2	流通論Ⅰ	2	2	流通論Ⅱ	2	2
国際貿易論Ⅰ	2	2	国際貿易論Ⅱ	2	2	国際ビジネス環境論A	2	2
国際ビジネス環境論B	2	2	Globalization and Emerging Countries A	2	2	Globalization and Emerging Countries B	2	2
多角的貿易体制概論A	2	3	多角的貿易体制概論B	2	3	ベンチャー企業経営論	2	3
サプライチェーンと意思決定法A	2	2	サプライチェーンと意思決定法B	2	2	グローバル製品戦略Ⅰ	2	2
グローバル製品戦略Ⅱ	2	2	証券投資論Ⅰ	2	2	証券投資論Ⅱ	2	2
意思決定会計論	2	2	国際会計論Ⅰ	2	2	国際会計論Ⅱ	2	2
制度会計論A	2	2	制度会計論B	2	2	戦略管理会計Ⅰ	2	2
戦略管理会計Ⅱ	2	2	予算管理論	2	2	企業法務Ⅰ	2	3
企業法務Ⅱ	2	3	コーポレート・ファイナンスⅠ	2	3	コーポレート・ファイナンスⅡ	2	3
リスク・マネジメント論Ⅰ	2	3	リスク・マネジメントⅡ	2	3	交通論Ⅰ	2	3
交通論Ⅱ	2	3	Effective Negotiation	2	3	Written Agreements	2	3
Effective Speech	2	3	Academic Presentation	2	3	Career Development (Introduction to Coaching)	2	3
アメリカ文化論Ⅰ	2	3	アメリカ文化論Ⅱ	2	3	イギリス文化論Ⅰ	2	3
イギリス文化論Ⅱ	2	3	ユダヤ文化とビジネスⅠ	2	3	ユダヤ文化とビジネスⅡ	2	3
英語圏社会・文化研究Ⅰ	2	3	英語圏社会・文化研究Ⅱ	2	3	世界の言語文化Ⅰ	2	3
世界の言語文化Ⅱ	2	3	現代韓国社会事情Ⅰ	2	3	現代韓国社会事情Ⅱ	2	3
Market and Business Environment	2	3	国際マーケティング	2	3	国際経営論Ⅰ	2	3
国際経営論Ⅱ	2	3	サプライチェーン・マネジメントA	2	3	サプライチェーン・マネジメントB	2	3
経営戦略論Ⅰ	2	3	経営戦略論Ⅱ	2	3	経営データ分析応用Ⅰ	2	3
経営データ分析応用Ⅱ	2	3	事業創造戦略論	2	3	顧客創造戦略論	2	3
人材育成論Ⅰ	2	3	人材育成論Ⅱ	2	3	人的資源管理論Ⅰ	2	3
人的資源管理論Ⅱ	2	3	組織心理学Ⅰ	2	3	組織心理学Ⅱ	2	3
マネジメントサイエンスⅠ	2	3	マネジメントサイエンスⅡ	2	3	人間行動の多面的分析A	2	3
人間行動の多面的分析B	2	3	戦略・マネジメント特論A	2	3	戦略・マネジメント特論B	2	3
コストマネジメント	2	3	財務コンサルティング論Ⅰ	2	3	財務コンサルティング論Ⅱ	2	3
会計情報論Ⅰ	2	3	会計情報論Ⅱ	2	3	会計・ファイナンス特論A	2	3
会計・ファイナンス特論B	2	3	企業評価論Ⅰ	2	3	企業評価論Ⅱ	2	3
実証会計論Ⅰ	2	3	実証会計論Ⅱ	2	3	財務分析論Ⅰ	2	3
財務分析論Ⅱ	2	3	監査論Ⅰ	2	3	監査論Ⅱ	2	3
税務会計論Ⅰ	2	3	税務会計論Ⅱ	2	3	競争戦略論Ⅰ	2	3
競争戦略論Ⅱ	2	3	産業労働衛生論	2	3	ヘルスケア経営論	2	3
流通情報システム論A	2	3	流通情報システム論B	2	3	マーケティング特論A	2	3
マーケティング特論B	2	3	マーケティング特論C	2	3	マーケティング特論D	2	3
マーケティング特論E	2	3	マーケティング特論F	2	3	広告コミュニケーション	2	3
マーケティング・コミュニケーション	2	3	サービスマーケティング	2	3	ブランド・マネジメント	2	3
消費者行動論	2	3	マーケティング・リサーチ	2	3	マクロ・マーケティングA	2	3
Macromarketing B	2	3	流通政策A	2	3	流通政策B	2	3
経済原論Ⅰ	2	2	経済原論Ⅱ	2	2	民法A	2	3
民法B	2	3	民法C	2	3	民法D	2	3
商法A(Ⅰ)	2	3	商法A(Ⅱ)	2	3	商法B	2	3
商法C	2	3	経済法A	2	3	経済法B	2	3
労働法A	2	3	労働法B	2	3	国際法A	2	3
国際法B	2	3						

他学部科目一覧表

国際政治経済学部

国際政治経済学部は、学科科目Ｂ群科目の履修を他学部の学生に認めています。ただし、以下の一覧に掲載する科目については、履修を認めていません。

【国際政治経済学部生以外の学部生に履修を許可しない科目の一覧】

授　業　科　目	授　業　科　目	授　業　科　目
国際政治学特殊講義Ⅲ	国際経済学特殊講義Ⅲ	外国書（フランス語）講読Ⅰ・Ⅱ
外国書（ドイツ語）講読Ⅰ・Ⅱ	外国書（スペイン語）講読Ⅰ・Ⅱ	外国書（中国語）講読Ⅰ・Ⅱ
外国書（ロシア語）講読Ⅰ・Ⅱ	インターンシップ	海外ボランティア実習
演習ⅠA・ⅠB・Ⅱ	通訳の理論と実践Ⅰ・Ⅱ	翻訳の理論と実践Ⅰ・Ⅱ
実践・通訳コミュニケーションⅠ・Ⅱ	国際ビジネス･コミュニケーション(Ⅰ)･(Ⅱ)	アンケート・社会調査の方法
言語の普遍性	情報と組織の経済学Ⅰ	日本経済と証券ビジネス
金融Ⅰ・Ⅱ	民法概論Ⅰ・Ⅱ	国際私法Ⅰ・Ⅱ
財政論Ⅰ・Ⅱ	簿記論ⅠA・ⅠB	簿記論ⅡA・ⅡB
広告コミュニケーション論	国際取引法	インターネットと法＊
紛争解決と法	アメリカ法概論	Intercultural Communication
Intercultural Literacy Ⅰ	Media Communication	Cyber Communication
Intercultural Business Ⅰ・Ⅱ	Conference Communication	Negotiation Communication
国際コミュニケーション特殊講義(海外研修)	異文化コミュニケーション特殊講義Ⅰ・Ⅱ	国連研究Ⅱ
コンピュータによる調査データの解析	イギリス文化論	文化とコミュニケーションⅠ・Ⅱ
経営情報Ⅰ・Ⅱ	パブリック・リレーションズ	現代社会とジャーナリズム
Global Studies Ⅰ～Ⅷ	Global Studies 特別講義Ⅰ・Ⅱ	
また、以下の科目は、社会情報学部開講科目と同一名称科目もしくは、類似科目のため履修を許可しない		
計量経済学Ⅰ・Ⅱ	マーケットとファイナンスⅠ・Ⅱ	コーポレートファイナンスⅠ・Ⅱ

総合文化政策学部

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
経済分析（ミクロ）	2	3・4	経済分析（マクロ）	2	3・4	公共社会論	2	3・4
金融概論	2	3・4	行政学概論	2	3・4	国際関係	2	3・4
公共政策論	2	3・4	憲法概論	2	3・4	民法概論	2	3・4
行政法概論	2	3・4	著作権法	2	3・4	国際政治学概論	2	3・4
経済発展論	2	3・4	国際平和論	2	3・4	経済政策概論	2	3・4
公共経済学概論	2	3・4	文化経済学	2	3・4	文化行政法	2	3・4
文化産業概論	2	3・4	観光産業論	2	3・4	消費経済論	2	3・4
日本経済概論	2	3・4	マーケティング概論	2	3・4	会計学	2	3・4
サービスマーケティング概論	2	3・4	消費文化論	2	3・4	経営戦略概論	2	3・4
組織論入門	2	3・4	人的資源管理概論	2	3・4	経営情報論	2	3・4
管理会計概論	2	3・4	経営分析論	2	3・4	非営利会計論	2	3・4
プロジェクトマネジメント論	2	3・4	ビジネスプロセスマネジメント論	2	3・4	プロジェクトファイナンス	2	3・4
マーケティング戦略論	2	3・4	ブランド戦略論	2	3・4	公共経営論	2	3・4
文化財保護法	2	3・4	プロジェクトプロデュース論	2	3・4	世界経済概論	2	3・4
社会調査論 I	2	3・4	社会調査論 II	2	3・4	統計学	2	3・4
社会調査法 I	2	3・4	社会調査法 II	2	3・4	社会統計学	2	3・4
社会調査実習	4	3・4	文化人類学概論	2	3・4	日本文化の歴史	2	3・4
異文化間コミュニケーション論	2	3・4	表象文化概論	2	3・4	社会分析学	2	3・4
宗教史	2	3・4	経済史 (1)	2	3・4	経済史 (2)	2	3・4
社会思想史	2	3・4	経済と文明	2	3・4	比較文明論	2	3・4
地域文化論 (1)	2	3・4	地域文化論 (2)	2	3・4	地域文化論 (3)	2	3・4
地域文化論 (4)	2	3・4	宗教文化概論	2	3・4	宗教社会学	2	3・4
比較宗教論	2	3・4	ネットワーク社会と文化	2	3・4	文化遺産論	2	3・4
経営文化論	2	3・4	文化と精神分析	2	3・4	現代経済史	2	3・4
現代日本文化論	2	3・4	近代哲学史	2	3・4	論理学	2	3・4
公共哲学概論	2	3・4	認識論	2	3・4	存在論	2	3・4
倫理学入門	2	3・4	象徴記号論	2	3・4	情報環境論 (1)	2	3・4
情報環境論 (2)	2	3・4	メディアリテラシー	2	3・4	宗教哲学	2	3・4
社会倫理	2	3・4	日本思想史概論	2	3・4	現代哲学	2	3・4
現代思潮	2	3・4	現代の神学	2	3・4	認知哲学	2	3・4
環境美学	2	3・4	芸術哲学	2	3・4	情報工学	2	3・4

理工学部

授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次
現代物理学概論	2	2・3・4	一般電気工学	2	2・3・4	一般機械工学	2	2・3・4
経営システム工学特別講座	2	2・3・4	計算機概論	2	2・3・4			

地球社会共生学部

授　業　科　目	単位	履修年次	授　業　科　目	単位	履修年次	授　業　科　目	単位	履修年次
Topics in Japanese Geography I	2	1・2・3・4	Topics in Japanese Geography II	2	1・2・3・4	Topics in Japanese Geography III ※	2	1・2・3・4
Topics in Japanese Geography IV ※	2	1・2・3・4	Topics in Japanese History I	2	1・2・3・4	Topics in Japanese History II	2	1・2・3・4
Topics in Japanese History III ※	2	1・2・3・4	Topics in Japanese History IV ※	2	1・2・3・4	Topics in Japanese Culture I	2	1・2・3・4
Topics in Japanese Culture II	2	1・2・3・4	Topics in Japanese Culture III ※	2	1・2・3・4	Topics in Japanese Culture IV ※	2	1・2・3・4
Topics in Japanese Economy, Business, and Policy I	2	1・2・3・4	Topics in Japanese Economy, Business, and Policy II	2	1・2・3・4	Topics in Japanese Economy, Business, and Policy III ※	2	1・2・3・4
Topics in Japanese Economy, Business, and Policy IV ※	2	1・2・3・4						

※2016年度開講

Ⅴ．授業について

1．授　業

授業時間

授業時間は次のとおりです。

第１時限	9：00～10：30
礼　拝	10：30～11：00
第２時限	11：00～12：30
昼休み	12：30～13：20
第３時限	13：20～14：50
第４時限	15：05～16：35
第５時限	16：50～18：20
第６時限	18：30～20：00
第７時限	20：10～21：40

夕礼拝（火曜日のみ）
18：00～18：30

授業は原則５時限で実施します。しかし、科目配置の都合により６時限目以降にも配置することがあります。

また、特別な行事のときに授業時間が変更となることがあります。その場合は「学生ポータル」で伝達します。

授業教室

授業教室については、別冊子『授業時間割表』に掲載されています。授業教室が変更になる場合は、随時「学生ポータル」で伝達しますので、毎日必ず確認してください。

休　講

授業が休講になる場合は、「学生ポータル」で伝達します。

休講情報がなく、授業開始から30分以上経過しても担当教員が来ず、連絡もない場合は、所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）に問い合わせ、指示を受けてください（学生共通細則第７条参照）。

補　講

休講となった授業に対し、補講を行う場合があります。補講は、学事暦に記載されている期間および授業期間中の主に水曜・土曜日に実施されます。詳細は「学生ポータル」で伝達しますので、必ず確認してください。また、上記指定日以外にも補講を行う場合もあります。担当者が直接教室で発表するか、または「学生ポータル」で発表しますので、随時確認してください。

授業の欠席について

本学では、特定の理由による欠席を認める「公欠制度」は設けておりません。ケガ･病気･忌引きなどで授業を欠席した場合は、次回の授業時に直接担当教員に申し出て、指示を受けてください。なお、長期にわたる欠席の場合は、所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）に相談してください。

2．大学からの伝達

本学では、大学から学生のみなさんへの通知や連絡は、主に「学生ポータル」によって行います。ただし、「掲示板」のものもあります。

また、利用方法については、『学生ポータル利用案内』を参照してください。

「掲示板」の設置場所については次のとおりです。

青山キャンパス	８号館と９号館の間（１階）
相模原キャンパス	Ｅ棟とＦ棟の間（外階段下通路内）

「学生ポータル」「掲示板」では、授業・試験など学生生活に直接関係のある事項が随時伝達されています。情報を確認しなかったことにより、後になって不利益を被ることのないよう、十分注意してください。また、電話による問い合わせには一切応じられませんので、質問などがある場合は直接窓口に来室してください。

３．緊急時の「授業の取り扱い」および「伝達手段」について

事故、災害などにより通常利用している交通機関の運行が停止した場合の授業の取扱いは次のとおりとします。

１．通常利用している交通機関運休時における対応

⑴　代替交通機関を利用して登校が可能と判断できた場合には、危険な状況でない限り、極力、登校するよう努めてください。

⑵　代替交通機関の利用ができず登校できなかった場合には、所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）に用意されている「交通機関不通による授業欠席届」に、交通機関などが発行した遅延証明書、事故証明書などを添えて授業担当者に提出して欠席分の学習補填の指示を受けてください。

２．台風の接近時などの対応

台風の接近などによる被害が予想される場合には、休講などの特別措置がとられることがあります。

３．大規模地震の発生が予想されるときの対応

⑴　大規模地震対策特別措置法による「地震防災対策強化地域判定会」の招集が報道された時点で休校措置がとられます。

⑵　警戒宣言が解除され、または「判定会」が解散されたときは、休校を解き、平常授業に戻ります。

緊急時の情報提供

テレドーム　0180－993171（青山学院大学用番号）
Web　http://www.aoyama.ac.jp

（緊急の情報がない場合、テレドームは呼び出し音のみになります）
ただしこのサービスについては、利用可能な電話と、利用できない電話があります。

利用可能な電話

①　一般電話
②　携帯電話…NTT docomo、au、SoftBank

利用できない電話

携帯電話…NTT docomo を除くプリペイド式携帯、PHS、
列車公衆電話、「050」から始まる IP 電話、NTT の「ひかり電話」、
一部のケーブルテレビ電話、海外からの国際電話

緊急時には、原則として「学生ポータル」では情報提供されません。

4．新型インフルエンザに対する本学の対応について

2009年に全国的に流行した新型インフルエンザは弱毒性の「H1N1」型でしたが、いまだ強毒性インフルエンザ「H5N1」型の流行が危惧されております。

本学では新型インフルエンザの流行が確認された場合は学院危機管理委員会のもとに「新型インフルエンザ対策本部」および「新型インフルエンザ対策会議」において検討を行い、休校等の処置を行う場合（休校の解除を含む）は学生・生徒・児童・園児、教職員および保護者等に対して学院ホームページや学内一斉配信メール(学生ポータル等)、緊急連絡網、文書等でお知らせいたします。

なお、新型インフルエンザ（「H5N1」型）に対する本学の対応は「国内で１人でも発生が認められた場合は幼稚園から大学までを完全休校」とします。

日本国内で罹患者が認められ、厚生労働大臣よりフェーズ４Ｂ（ヒト-ヒト感染発生）の宣言が行われた時点で登校を控えてください。

新型インフルエンザの休校情報は発生次第、テレドーム（前ページ参照）で確認できます。

Ⅵ．試験・レポートについて

授業科目の履修状況を評価し単位を認定するため、試験が行われます。試験は、筆記のほかに、科目によっては、論文、レポート、口述試験、実技テスト、その他担当者の指定する方法で行われることもあります。

試験は、受験資格のある学生のみ受験できます。

受験資格は、以下のとおりです。

①　受験する授業科目を履修登録していること

②　学費を納入済みであること

なお、学期を通じ欠席の多い学生は、その科目の受験資格を失うことがあります（学生共通細則第７条参照）。

１．試験の種別

定期試験

前期末、後期末に期間を定めて実施する試験を定期試験といいます。

試験時間割は、試験開始日の約２週間前に「学生ポータル」で発表します（情報は変更される場合もあるので、随時確認してください）。試験実施教室や時間割は通常授業時と異なります。

平常試験

定期試験期間以外の、平常の授業時間に行う試験を平常試験といいます。この場合、担当者によって実施日その他詳細が決定されます。情報は担当者より発表されるか、場合によって「学生ポータル」で発表します（情報は変更される場合もあるので、随時確認してください）。

レポート

レポートは、提出先によって２種類あります。

【教務提出レポート】

おおむね定期試験の前後に受付が行われます。詳細は「学生ポータル」で発表します（情報は変更される場合もあるので、随時確認してください）。

テーマ、枚数、提出期限などを確認し、必ず指定された期間（時間）内に提出してください。指定された期間内であれば、当該授業科目開講キャンパスに限らず、どちらのキャンパスでも受付けます。

提出後の内容変更および指定された期間以外の提出は認めません。

このレポートを提出するときは、以下の点に注意してください。

①　用紙は指定されたものを使用してください。

②　必ず大学所定のレポート提出票を貼付してください。

③　レポート提出票には、整理番号その他、記入事項のすべてを「学生ポータル」で確認の上、ボールペンで記入してください。鉛筆書きは受け付けません。

④　受付窓口に持参する際は、提出票記入・ホチキス留めなどをすべて完了し、作成が完了した状態にしておいてください。受付窓口での提出票記入･ホチキス留めはできません。

⑤　提出した際に受領印の押印された「レポート提出票（学生控）」を受け取り、成績が発表されるまで各自保管しておいてください。後日、提示を求められる場合があります。

【担当者提出レポート】

情報は担当者より発表されるか、場合によって「学生ポータル」で発表します（情報は変更される場合もあるので、随時確認してください）。テーマ、用紙、枚数、提出期限、提出方法など、すべて担当者の指示に従ってください。

提出先として**学務課あるいは学務部教務課設置の提出ボックスまたは青山スタンダードレポート提出コーナー**を指定される場合がありますが、このレポートは**担当者提出レポート**として扱います。

追試験

定期試験に限り、病気、その他やむを得ない理由によって受験できなかった学生に対して行われる試験を追試験といいます。受験資格は厳密に定められており、**自己の不注意によって受験できなかった場合、および、公的な証明書のない場合は、追試験を受けることはできません。**

資格および申請方法などについては後述の「**3．追試験**」を参照してください。なお、出席日数不足など、担当者の判断によって追試験の受験が認められない場合があります。

> 定期試験期間中は、試験の有無にかかわらず、定期試験期間最終日まで予定（旅行など）を入れないでください。
> また、やむを得ず追試験の申請をすることも想定し、追試験実施日（学生ポータルで発表）にも留意してください。

2．定期試験の受験

定期試験時間

定期試験時間割は以下のとおりです。授業時間割とは異なるので注意してください。

定期試験科目配置上、５時限で実施できないことが起きた場合のみ６・７時限目にも配置します。

試験時間は原則として60分です（理工学部・社会情報学部専門科目のみ最長85分の場合があります）。

第１時限	9：30 ～ 10：30
第２時限	11：10 ～ 12：10
第３時限	13：10 ～ 14：10
第４時限	14：50 ～ 15：50
第５時限	16：30 ～ 17：30
第６時限	18：20 ～ 19：20
第７時限	19：40 ～ 20：40

受験上の注意

受験上の注意は以下の通りです。あらかじめよく読んでおいてください。

試験教室で配布される受験票は、試験を受けた証拠になりますので学年・クラス番号等、正確に記入してください。答案用紙の学年・クラス番号を正しく記入しない場合、担当教員の成績報告に支障をきたすことがあります。また指定されたクラス・試験教室で必ず受験してください。

受験上の注意

１．監督者の指示に従うこと。
２．机の空いている限り、一机一名で着席すること。
３．机上等に書き込みがある場合は、開始前に申し出ること。
４．学生証はケースから出し、通路側の机上に置くこと。**※注**
５．以下の行為は、不正行為に該当するので充分留意すること。
　① 受験資格のない者の受験（代人も含む）。
　② 答案の交換及び他人の答案を盗み見ること。
　③ カンニングペーパー（縮小コピー）等の準備および使用。
　④ 答案用紙を提出せずに試験場から退室すること。

⑤　机の中にノート、コピー、文献等を開いたまま置くこと。
⑥　所持品やかばん、透明ファイルケース等の中身が見える形のまま、身の回りに置くこと。

6．机上には、許可された文献類および筆記用具以外は置かないこと。
なお、筆箱・ペンケース等も置いてはならない。

7．携帯電話等の電子機器類の電源を切り、かばん等に入れておくこと。
（携帯電話は時計として使用できない）

8．試験終了前に退室する場合は、他の受験者の妨げにならないよう留意すること。

9．不正行為は恥ずべき行為であり大学として厳重に対処する。

※注　学生証を提示しない学生は受験できません。

・試験当日学生証を忘れた場合、相模原キャンパスでは学務課、青山キャンパスでは学務部教務課で学生カードを受け取り受験してください。学生カードの使用については以下の点に注意してください。
　a．学生カードは、試験受験以外には一切利用できません。
　b．学生カードは発行日に限り記載者本人のみ有効です。使用後は自己の責任において適切に処分してください。

・試験開始後20分以上の遅刻者は受験できません。また試験開始後30分を経過するまで退室できません。

不正行為

不正行為を行った学生は、以下に示す『試験における不正行為者処分規則』が適用され、単位を修得することができません。科目によっては4年間で卒業することが不可能になります。

青山学院規則集『試験における不正行為者処分規則』より抜粋

第3条　不正行為者の処分内容は、学則に基づく懲戒処分（訓告、停学、退学）とするほか不正行為を行った授業科目、当該授業科目を含む数科目または全授業科目の履修届を無効とする。

第4条　不正行為者の氏名および処分は学内に掲示し、本人および保証人へ通知する。

不正行為とは、**『試験における不正行為者処分規則施行細則』第2条**に定められた、以下の行為をいいます。

①　代人として受験することまたは代人に受験させること。
②　答案を交換すること。
③　カンニング・ペーパーおよびそれに準ずるもの（メモ類）の用意またはそれらを使用すること。
④　カンニング・ペーパーおよびそれに準ずるもの（メモ類）を廻し見すること。
⑤　使用が許可されていない文献等を使用すること。
⑥　使用が許可されている文献等を貸借すること。
⑦　所持品、身体、机、壁等に解答およびそれに類するものを書き込むこと。
⑧　答案を写させること、または写しとること。
⑨　他人の答案を盗み見ること。
⑩　声、動作等で解答を伝達すること、または伝達を受けること。
⑪　受験資格のない者が受験すること。
⑫　他人の学生証を使用して受験すること。
⑬　偽名または故意により無記名答案を提出すること。
⑭　答案を提出しないこと。
⑮　監督者の指示や注意に従わないこと。
⑯　その他上記各号に類すると認められる行為。

3．追試験

申請資格

定期試験を病気、その他やむを得ない理由によって受験できなかった学生のみ申請することができます。

以下の場合には追試験の対象とはなりません。

① 自己の不注意（時間割の見間違い・変更情報の見落としなど）によって受験できなかった場合

② 公共交通機関以外を利用した場合の、天候や交通事故などによる道路の渋滞、車両の故障を理由とする遅刻・欠席の場合

③ 平常試験（定期試験以外の試験を指す）の場合

④ 定期試験を受験した場合

申請方法

申請の日程、追試験日程については、定期試験前に「学生ポータル」で発表します。

追試験の受験を希望する学生は、**直接、授業科目の開講キャンパスの教務窓口**（巻末参照）**で、定められた期間に申請してください。**当該授業科目開講キャンパス以外の教務窓口では申請できません。

申請時には、当該試験の受験が不可能であったことを証明する公的な書類を持参してください。公的な書類は、**学生氏名、定期試験を受験できなかった日時、理由、証明者名の記載および証明者印のあるもの**に限ります。**コピーは不可です。**「追試験願」用紙を交付しますので、その場で記入し、持参した書類とともに提出してください。なお、受験料は無料です。

欠席理由と、それを示す証明書は次のとおりです。

理　由	証　明　書
病気	医師の診断書（通院・入院・安静期間などの記載のあるもの）
忌引（両親、兄弟姉妹、祖父母、配偶者、子供） ※法事は忌引に含めない	死亡に関する公的証明書および保証人などによる続柄の証明（要押印） または、 葬儀に参列したことを示す会葬礼状（日付が明記されているもの）および保証人などによる続柄・参列の証明（要押印）
就職試験	就職試験の受験を証明するもの（受験票では不可）
災害（台風、地震、水害、火災など）	官公庁による被災証明書
交通関係（遅延）	交通機関などの証明書（通学路線に限る。遅延当日必ず教務窓口で指示を受けること）
教育実習	教育実習参加証明書（教職課程課・学務課にて発行）
科目の時限重複	定期試験実施前に教務窓口で指示を受けること

上記以外の理由または、公的な証明書が無い場合については、事前に「**追試験受験資格審査**」を受けてください。審査で認められた場合のみ申請することができます。

追試験時間・採点

原則として60分で実施し、答案は100点満点で採点されます。

Ⅶ．成績評価について

成績評価

学業成績は、授業科目ごとに行う**試験（筆記試験、レポート、論文、口述試験、実技テスト、その他担当者の指定する方法）**によって評価されます。

本学の成績は100点法によって評価されます。60点以上が合格とされ、所定の単位が与えられます。

成績証明書および成績通知書には AA、A、B、C の表記が用いられます。ただし、「情報スキルⅠ」、指定の海外研修等については、所定の単位が与えられた場合、成績証明書には「RR」、成績通知書には「合格」と表示されます。

実点数範囲	学生への成績通知	成績証明書の記載
100～90	AA	AA
89～80	A	A
79～70	B	B
69～60	C	C
59以下または不合格	XX	表示せず
欠席	X	表示せず
「情報スキルⅠ」、海外研修等による単位修得	合格	RR

G.P.A.

G.P.A.（Grade Point Average）とは、学生の履修登録科目の１単位あたりの評点平均値を指します。これは、欧米で広く用いられている世界標準的な成績評価方法で、本学では給付奨学金や学業奨励賞の候補者選出、学位授与式の総代選出、本学大学院進学などの際に活用されています。

履修した科目には、A、B、C、XX などの成績が与えられます。これらの評価を数値化して１単位ごとの平均を算出したものが G.P.A. です。

本学では、各評価に与えられる評点は次のとおりです。

G.P.A. 算出対象評価

本学評価	評点
AA	4.0
A	3.0
B	2.0
C	1.0
XX(不合格)	0.0
X （欠席）	0.0

上記の評点を次の計算式に当てはめて G.P.A. を算出します。

$$\text{G.P.A.}=\frac{(\text{AA の単位数}\times 4+\text{A の単位数}\times 3+\text{B の単位数}\times 2+\text{C の単位数}\times 1)}{(\text{AA の単位数}+\text{A の単位数}+\text{B の単位数}+\text{C の単位数}+\text{XX の単位数}+\text{X の単位数})}$$

※理工・社会情報学部は、教職課程科目を G.P.A. 算出の対象外とします。

※「情報スキルⅠ」、指定の海外研修等は、G.P.A. 算出の対象外とします。

成績通知

学生の成績評価は、３月上旬および９月中旬に学生ポータルメニュー「成績通知書」にてお知らせします。学外 PC から閲覧する場合は、あらかじめ学内で Secure Matrix パスワードの登録を済ませておく必要があります。（詳細は、学生ポータルメニュー「学外から成績通知書を閲覧する手順」を参照してください。）**成績通知書は各自で印刷し、修得した科目とその評価を確認してください。**

成績調査

成績評価に疑問がある場合は、「成績調査」を申請することができます。これは、科目担当者に対して、安易に再考・変更を求めるものではありません。成績に疑問を持つ**明確な根拠がある場合にのみ**申請してください。

大学が指定する調査期間中に、成績通知書持参のうえ所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）へ申し出てください。調査期間は、「学生ポータル」でお知らせします。

電話での問い合わせ、期間外の申し出には一切応じません。

Ⅷ．進級および卒業について

進　級

進級については、所属する学部で条件が異なるので、「Ⅳ．学部履修要項」の各学部、学科の**進級条件**の項を参照してください。

卒　業

⑴　本学に４年（８期）以上在学（休学期間を除く）し、なおかつ４年次に１年（２期）以上の在学が必要です。その上で、各学部で定められた卒業に必要な単位を修得した者に卒業が認められ、学士の学位が授与されます。なお、休学期間中に卒業することはできません。

※卒業の時期は４年次３月とし、卒業発表は３月上旬に行います。卒業の可否は必ず本人が確認してください。電話による問い合わせには一切応じておりません。

９月卒業

上記の卒業の条件を満たした場合、願い出によって４年次の９月に卒業できる制度があります。

⑴　希望者は、所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）で相談し、**「９月卒業希望届」**を定められた期間に提出してください。

⑵　期限を過ぎてからの提出は、一切認められません。

⑶　学費については、本学の財務部資金課に問い合わせてください。

卒業延期制度

４年次に在学する学生が卒業要件を満たし、具体的な勉学継続計画、国家試験受験等明確な理由、目的を有したうえで、在学期間を延長して学修継続を希望する場合、卒業の延期を認めて学修継続の機会を与える制度です。

⑴　希望者は、所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）で相談し、**「卒業延期許可願」**、**「学修計画書」**、**「誓約書・保証書」**を定められた期間に提出してください。

⑵　期限を過ぎてからの提出は、一切認められません。

⑶　学費については、本学の財務部資金課に問い合わせてください。

Ⅸ．学籍について

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>内　　容</th><th>取扱・問い合わせ窓口</th></tr>
<tr><td colspan="2">修業年限</td><td>本学の教育課程を修了するために必要な最低修業年限は、４年です。</td><td>学則第35条参照</td></tr>
<tr><td colspan="2">在学年限</td><td>①　本学に在学できる期間は、休学期間を除き８年です。
②　２年次編入学生、２年次転学部・転学科生の在学年限は６年です。
③　３年次編入学生、３年次転学部・転学科生の在学年限は４年です。
④　再入学者の在学年限は、退学以前を加えて８年です。
⑤　編入学または転学部･転学科をした再入学者の在学年限は、退学以前を加え、編入学または転学部・転学科学生の在学年限を越えることはできません。</td><td>学則第36条参照</td></tr>
<tr><td rowspan="3">休学</td><td>休学期間</td><td>①　休学期間は、通年（１年間）、前期、後期の３種類があり、１年または１学期ごとに更新しなければなりません。
②　休学期間は連続２年までとしますが、特にやむを得ない場合は、審議をしたうえで、連続して３年まで認めることがあります。
③　休学期間は通算して３年を超えることはできません。
④　休学期間は在学期間に算入しません。</td><td>学則第29・36条参照</td></tr>
<tr><td>休学をするには</td><td>病気その他やむを得ない理由で休学しようとする学生は、以下の手続きを行い、教授会の承認を得なければなりません。
①「休学願」（大学所定用紙）（保証人連署）の提出
②　学生証の提示
③　休学費の納入
④「理由書（書式は任意）」休学期間が通算であっても連続であっても、２年を超えてさらに休学を願い出る場合のみ提出</td><td>（手続き）
⇒所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）
学則第28条参照

（休学費）
⇒学費・奨学金課
（青山キャンパス）
⇒学生生活課
（相模原キャンパス）
学則　別記学費納付に関する取扱い８参照</td></tr>
<tr><td>休学願の提出期限</td><td>「休学願」の提出期限は次のとおりです。
<table>
<tr><th></th><th>休学期間</th><th>提出期限</th></tr>
<tr><td>通年休学</td><td>４月１日～翌年３月31日</td><td>６月末日</td></tr>
<tr><td>前期休学</td><td>４月１日～９月30日</td><td>６月末日</td></tr>
<tr><td>後期休学</td><td>10月１日～翌年３月31日</td><td>12月末日</td></tr>
</table></td><td>⇒所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）</td></tr>
<tr><td>復学</td><td>復学をするには</td><td>休学者が復学を希望する場合、大学所定の「復学願」を提出し、教授会の承認を経て復学することができます。休学期間満了の約２ヶ月前に、学務部教務課（相模原キャンパスは学務課）から次期の復学・休学の継続などについての問い合わせをします。なお、復学が承認された場合の年次は、通年休学の場合は休学前と同一年次となります。半期休学の場合も同一年次となりますが、過去に休学をしたことがある場合には、休学の仕方によっては復学後に進級となる場合があります。</td><td>⇒所属キャンパスの教務窓口（巻末参照）

学則第30条参照</td></tr>
</table>

		内　　容	取扱・問い合わせ窓口
退学	退学の期日	退学の期日は、学費の納付期間によって異なります。前期分まで納付している場合は９月30日付、後期分まで納付している場合は３月31日付となります。	学則　別記学費納付に関する取扱い10参照
	退学をするには	病気その他やむを得ない事情で退学を希望する場合は、以下の手続きを行い、教授会の承認を得なければなりません。 ①「退学願」（大学所定用紙）（保証人連署）の提出 ②　学生証の提出 ③　退学期日を含む学期までの学費の納入	⇒所属キャンパスの教務窓口（巻末参照） 学則第32条参照
再入学		退学した後に再入学を願い出た場合、事情を審査のうえ相当年次に再入学を許可することがあります。願い出をするためには以下のような条件があります。 ①　再入学の願い出ができる期間は、原則として退学した日から２年以内とし、「再入学願」は１月中旬～１月末日（要問い合わせ）の間に学務担当窓口に提出してください。 ②　再入学できる時期は、学年の初めとします。	⇒所属キャンパスの教務窓口（巻末参照） 学則第27条参照
二重学籍	二重学籍の禁止	本学学生は、他大学および本学他学部または他学科と併せて在学することはできません。	学則第27条の２参照
除籍		学費を期限内に納入しない、履修登録をしない、などの場合は修学の意思がないものとして除籍され、本学学生としての身分を失うことになります。なお、除籍者に対しては、以後、在学中の修得単位・成績の証明などは一切行ないません。また、再入学の資格も失うことになります。	学則第34条参照
転学部・転学科	転学部とは	文学部、教育人間科学部、法学部、国際政治経済学部、社会情報学部へ学部を移ることです。転学部を願い出た場合には、選考の上、当該学部への転学部を許可することがあります。許可された場合、転学部届の提出が必要となります。	⇒所属キャンパスの教務窓口（巻末参照） 学則第26条参照 （詳細については、本学Webサイトに９月下旬頃掲出予定の「試験要項」を確認してください。）
	転学科とは	同一学部内で学科を移ることです。文学部の学生で転学科を願い出た場合には、選考の上、文学部の他学科への転学科を許可することがあります。また、教育人間科学部の学生が転学科を願い出た場合には、選考の上、教育人間科学部の他学科への転学科を許可することがあります。許可された場合、転学科届の提出が必要となります。	

Ⅹ．教職課程（教員免許状・各種資格）について

1．本学で取得可能な教育職員免許状

〔取得可能な免許状の種類・教科（学部・学科別）〕

本学で取得可能な免許状の種類・教科は次のとおりです。

（2015年度入学者）

学　　部	学　　科	免許状の種類・教科
文学部	英米文学科	中 学 校教諭１種免許状（英語） 高等学校教諭１種免許状（英語）
	フランス文学科	中 学 校教諭１種免許状（フランス語） 高等学校教諭１種免許状（フランス語）
	日本文学科	中 学 校教諭１種免許状（国語） 高等学校教諭１種免許状（国語）
	史学科	中 学 校教諭１種免許状（社会） 高等学校教諭１種免許状（地理歴史）
教育人間科学部	教育学科	幼 稚 園教諭１種免許状 小 学 校教諭１種免許状 中 学 校教諭１種免許状（国語・社会・英語） 高等学校教諭１種免許状 （国語・地理歴史・公民・英語）
理工学部	物理・数理学科	中 学 校教諭１種免許状（理科・数学） 高等学校教諭１種免許状（理科・数学）
	化学・生命科学科	中 学 校教諭１種免許状（理科） 高等学校教諭１種免許状（理科）
	電気電子工学科	高等学校教諭１種免許状（工業）
	機械創造工学科	高等学校教諭１種免許状（工業）
	情報テクノロジー学科	高等学校教諭１種免許状（情報）
社会情報学部	社会情報学科	中 学 校教諭１種免許状（数学） 高等学校教諭１種免許状（数学・情報）

2．教員免許状の取得希望申請について

教員免許状の取得を希望する者は、入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』を熟読の上、前期履修登録期間に Web の履修登録画面から**「教職・各種資格申請」**の画面を開き、登録を行ってください。申請を行わなければ履修できない科目がありますので注意してください。

この申請は、毎年度前期履修登録期間に必ず行うものであり、在学中における申請内容の変更・取消、またはその有無にかかわらず、教職履修申請継続の意思を持っている場合には、毎年度申請を更新してください。申請内容は毎年度末にクリアされます。

3．教職課程料の納入について

教員免許状の申請登録（Web）をすると、申請した年度ごとに後期学費納入時に教職課程料を納入することになります。たとえ教職課程科目の履修登録をしなくても、**教員免許状の申請登録によって教職課程料が後期学費に加算されます**ので、各自の責任において免許教科を確認し、熟考の上申請をしてください。また、申請登録（Web）の取消しは、前期履修登録期間内しか行えません。なお、一旦納入された教職課程料は、いかなる理由があっても返還しません。

※学費を前期納付時に一括納付した者については、教職課程料の納付時期は９月となります。

４．教職課程履修について

履修上の注意

教職課程の履修は、１年次の年度初頭に開催される**教職課程オリエンテーション**で配付される入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』に従ってください。また、履修方法・科目名称の変更などについては、年度初頭に開催される２年次生対象**教職課程オリエンテーション**と３年次生および４年次生対象**教育実習・教職実践演習説明会**で資料を配付しますので、必ず確認してください。

教職課程関係の**オリエンテーション･説明会**および**手続**などの詳細については、『**学年初頭行事**』(学生ポータルに掲載)、教職課程掲示板で確認してください。

オリエンテーション・説明会に欠席したり、指定期間内に**介護等体験登録、教育実習Ⅱ・教職実践演習予備登録、教員免許状大学一括申請**などの手続を行わなかった場合、卒業時までに教員免許状を取得できない事態に陥ることがありますので、遺漏のないよう自己管理してください。

履修順序のある科目

教員免許状取得のための科目には、次ページ以下のとおり**「履修順序」**が定められたものがあります。詳細については、『**教職課程履修の手引**』の該当する学部･学科別の免許教科の項を併せて参照してください。

また、学部・学科別の取得可能な教員免許状の校種・教科は、**「１．本学で取得可能な教育職員免許状」**の表のとおりです。

〔教員免許状取得に必要な科目の履修順序〕

（2015年度入学者適用）

幼稚園教諭免許状取得希望者

第１段階		第２段階		第３段階
			第１段階に合格した場合のみ履修できる	第２段階に合格した場合のみ履修できる
（１年次配置科目）	（２年次配置科目）	（３年次配置科目）		（４年次配置科目）
教育思想概説 教育心理学概説 教育制度概説	教職論	保育内容教育法を３教科以上	幼児教育実習Ⅰ	幼児教育実習Ⅱ 教職実践演習(幼)

小学校教諭免許状取得希望者

第１段階		第２段階		第３段階
			第１段階に合格した場合のみ履修できる	第２段階に合格した場合のみ履修できる
（１年次配置科目）	（２年次配置科目）	（３年次配置科目）		（４年次配置科目）
教育思想概説 教育心理学概説 教育制度概説	教職論	初等教科教育法を４教科以上	初等教育実習Ⅰ	初等教育実習Ⅱ 教職実践演習(小)

中学校・高等学校教諭免許状取得希望者

第１段階		第２段階	第３段階
		第１段階に合格した場合のみ履修できる	第２段階に合格した場合のみ履修できる
（１年次配置科目）	（２年次配置科目）	（３年次配置科目）	（４年次配置科目）
教育原理Ａ （教育思想概説） 教育心理 （教育心理学概説） 教育原理Ｂ （教育制度概説）	教職論	中等教育実習Ⅰ 国語科教育法 　又は　国語科教材論 社会科教育法 　又は　社会科教材論 地理歴史科教育法 　又は　地理歴史科教材論 公民科教育法 　又は　公民科教材論 英語科教育法（注１） 　又は　英語科教育法特論（注１） フランス語科教育法 （フランス語教授法Ⅰ（注２）） 　又は　フランス語科教育法特論 理科教育法Ⅰ及び理科教育法Ⅱ 　又は　理科教材論 数学科教育法 　又は　数学科教育法特論 工業科教育法 情報科教育法 　又は　情報科教育法特論	中等教育実習ⅡＡ 中等教育実習ⅡＢ 教職実践演習(中・高)

（注１）　英米文学科の学生は、第１段階の科目を修得していなくても「英語科教育法」「英語科教育法特論」を履修することができます。

（注２）　フランス文学科の学生は、第１段階の科目を修得していなくても「フランス語教授法Ⅰ」を履修することができます。

5．教職課程科目配置表

文学部
教育人間科学部
理工学部
社会情報学部

（2015年度入学者）

教職課程科目は教育職員免許状の取得を希望し、申請した学生以外は履修できません。

	科目名	単位数	履修年次	
教職課程科目	教職論	2	2	
	教育原理Ａ	2	1	
	教育心理	4	1	
	教育原理Ｂ	2	1	
	教育課程編成法（中等）	2	3・4	
	国語科教育法	4	3	
	国語科教材論	4	3	
	社会科教育法	4	3	
	社会科教材論	4	3	
	地理歴史科教育法	2	3	
	地理歴史科教材論	2	3	
	公民科教育法	2	3	
	公民科教材論	2	3	
	英語科教育法	4	3	
	英語科教育法特論	4	3	
	フランス語科教育法	4	3	
	フランス語科教育法特論	4	3	
	理科教育法Ⅰ	2	3	
	理科教育法Ⅱ	2	3	
	理科教材論	4	3	
	数学科教育法	4	3	
	数学科教育法特論	4	3	
	工業科教育法	4	3	
	情報科教育法	2	3	
	情報科教育法特論	2	3	
	道徳教育指導法（中等）	2	3・4	
	特別活動論（中等）	2	3・4	
	教育方法の研究（中等）	2	3・4	
	生徒・進路指導論（中等）	2	3・4	
	教育相談（中等）	2	3・4	
	幼児教育実習Ⅰ	1	3	
	幼児教育実習Ⅱ	4	4	
	初等教育実習Ⅰ	1	3	
	初等教育実習Ⅱ	4	4	
	中等教育実習Ⅰ	1	3	
	中等教育実習ⅡＡ	2	4	
	中等教育実習ⅡＢ	2	4	
	教職実践演習（幼）	2	4	
	教職実践演習（小）	2	4	
	教職実践演習（中・高）	2	4	

6．本学で取得可能な資格

〔取得可能な資格の種類（学部・学科別）〕

本学で取得可能な資格の種類は次のとおりです。

（2015年度入学者）

学　部	学　科	資 格 の 種 類
文学部	英米文学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
	フランス文学科	
	日本文学科	
	史学科	
	比較芸術学科	司書・社会教育主事・学芸員
教育人間科学部	教育学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
	心理学科	司書・社会教育主事・学芸員
経済学部	経済学科	司書・社会教育主事・学芸員
	現代経済デザイン学科	
法学部	法学科	司書・社会教育主事・学芸員
経営学部	経営学科	司書・社会教育主事・学芸員
	マーケティング学科	
国際政治経済学部	国際政治学科	司書・社会教育主事・学芸員
	国際経済学科	
	国際コミュニケーション学科	
総合文化政策学部	総合文化政策学科	司書・社会教育主事・学芸員
理工学部	物理・数理学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
	化学・生命科学科	
	電気電子工学科	
	機械創造工学科	
	経営システム工学科	司書・社会教育主事・学芸員
	情報テクノロジー学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
社会情報学部	社会情報学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
地球社会共生学部	地球社会共生学科	司書・社会教育主事・学芸員

7．各種資格の取得希望申請について

各種資格（**司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員**）の取得を希望する者は、入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』を熟読の上、前期履修登録期間に、Web の履修登録画面から「**教職・各種資格申請**」の画面を開き、登録を行ってください。申請を行わなければ履修できない科目がありますので注意してください。

この申請は、毎年度前期履修登録期間に必ず行うものであり、在学中における申請内容の変更・取消、またはその有無にかかわらず、継続の意思を持っている場合には、毎年度申請を更新してください。申請内容は毎年度末にクリアされます。

8．資格課程料の納入方法

各種資格（司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員）の申請登録（Web）をすると、それぞれの資格について資格課程料を納入することになります。納入時期は 3 年次または 4 年次で最初に申請登録をした年度の後期学費納入時となり、在学中 1 回の納入となります。たとえ必要科目の履修登録をしなくても、**各種資格の申請登録（Web）によって資格課程料が学費に加算されます**ので、熟考の上申請をしてください。また、申請登録（Web）の取消しは、前期履修登録期間内しか行えません。なお、一旦納入された資格課程料は、いかなる理由があっても返還しません。

※各種資格の取得を希望する者は、毎年度、各種資格の申請登録（Web）を行ってください。

※学費を前期納付時に一括納付した者については、資格課程料の納付時期は 9 月となります。

9．各種資格取得に必要な科目の履修について

履修上の注意

各種資格取得に必要な科目の履修は、１年次の年度初頭に開催される**各種資格オリエンテーション**で配付される入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』に従ってください。

また、履修方法・科目名称などの変更があった場合には、年度初頭に開催される２年次生対象の**司書教諭・司書・社会教育主事オリエンテーション、学芸員オリエンテーション**などで資料を配付しますので、必ず確認してください。

各種資格関係の**オリエンテーション･説明会**および**手続**等の詳細については、『**学年初頭行事**』(学生ポータルに掲載)、教職課程掲示板で確認してください。

オリエンテーション・説明会に欠席したり、指定期間内に**博物館実習予備登録・各種資格申請**などの手続を行わなかった場合、卒業時までに資格の取得ができない事態に陥ることがありますので、遺漏のないよう自己管理してください（但し、司書教諭資格の取得時期については、『**教職課程履修の手引**』を参照してください)。

履修順序のある科目

司書および**学芸員**資格取得のための科目には、**「履修順序」**が定められたものがあります。詳細については、下表および『**教職課程履修の手引**』の**司書**および**学芸員**の項を参照してください。

また、学部・学科別の取得可能な資格の種類は、**「６.本学で取得可能な資格」**の表のとおりです。

〔司書資格取得に必要な科目の履修順序〕

(2015年度入学者)

第１段階	第２段階
２年次以降履修できる	第１段階の科目に合格した翌年度以降にのみ履修できる
（２年次配置科目）	（３・４年次配置科目）
図書館情報学概論	情報サービス論II 情報サービス論III メディア組織法II メディア組織法III

〔学芸員資格取得に必要な科目の履修順序〕

(2015年度入学者)

第１段階		第２段階
２・３年次のみ履修できる	３年次のみ履修できる	第１段階を合格した者のみ履修できる
（２年次配置科目）	（３年次配置科目）	（４年次配置科目）
博物館概論 博物館経営論 博物館資料論	博物館実習Ⅰ	博物館実習II

・**「博物館実習Ⅰ」は３年次生しか履修できません。**

・「博物館実習Ⅰ」の履修については、２年次後期の予備登録が必要です。受講者を制限する必要が生じた場合は、３年次年度初頭に選抜試験を実施します。

・**「博物館実習Ⅰ」予備登録**の日程については、教職課程掲示板で確認してください。

履修順序のある科目の登録方法

① 「博物館実習Ⅰ」（3年次配置科目）は、**事前登録科目**です。2年次後期に**博物館実習予備登録**をし、必要に応じて実施される3年次年度初頭の選抜試験に合格することにより**事前登録**されるので、履修登録期間中に個人が登録する必要はありません。履修登録期間中に、Webの履修登録画面で登録内容を確認してください。

② 「博物館実習Ⅱ」（4年次配置科目）は、Webの履修登録画面から各自が登録をしてください。履修順序の条件を満たしていない場合は、登録することができません。

Ⅺ．大学院について

本学には、より高度な専門知識と技術の修得について高い評価をうけている「大学院」各研究科･専攻に加え、時代と社会の要請に応える高度専門職業人養成の「専門職大学院」があります。

学部から本学「大学院」「専門職大学院」へ進学を希望する学生は、詳細を下記に問い合わせてください。

《問い合わせ先》

大学院

進学希望研究科	問い合わせ先（担当部署）
文学研究科 教育人間科学研究科 経済学研究科 法学研究科 経営学研究科 国際政治経済学研究科 総合文化政策学研究科	教務課 所在：青山キャンパス　17号館２階
理工学研究科 社会情報学研究科	スチューデントセンター・学務課 所在：相模原キャンパス　Ｂ棟１階

専門職大学院

進学希望研究科	問い合わせ先（担当部署）
国際マネジメント研究科（ビジネススクール） 法務研究科（ロースクール） 会計プロフェッション研究科（アカウンティングスクール）	専門職大学院教務課 所在：青山キャンパス　17号館２階

＊青山学院大学ホームページ（http://www.aoyama.ac.jp）にも、情報が載っていますので、参照してください。

＊上記の内容に変更が生じた場合は、「学生ポータル」で伝達いたします。

大学院 入試情報一覧（2015年度実績）

		学内進学者選抜	内部推薦	外部推薦	一般(秋)	一般(春)	大学院科目特別履修資格試験※1
文学研究科	英米文学専攻＊1				○	○	○
	フランス文学・語学専攻＊1				○	○	○
	日本文学・日本語専攻＊1				○	○	
	史学専攻＊1				○	○	○
	比較芸術学専攻＊1				○	○	○
教育人間科学研究科	教育学専攻＊1				○	○	
	心理学専攻＊1 心理学コース 臨床心理学コース	○				○	
経済学研究科	経済学専攻＊1	○			○	○	○
	公共・地域マネジメント専攻＊1	○			○	○	○
法学研究科	私法専攻＊1		○	○	○	○	○
	公法専攻＊1						
	ビジネス法務専攻＊2				○(実施時期は要問い合わせ)		○
経営学研究科	経営学専攻＊1	○			○	○	○
国際政治経済学研究科	国際政治学専攻＊2	○			○	○	○
	国際経済学専攻＊2						
	国際コミュニケーション専攻＊2						
総合文化政策学研究科	文化創造マネジメント専攻＊2	○			○	○	○
	総合文化政策学専攻＊3	○			○	○	
理工学研究科	理工学専攻＊1 基礎科学コース 化学コース 機能物質創成コース 生命科学コース 電気電子工学コース 機械創造コース 知能情報コース マネジメントテクノロジーコース	○			○(実施時期は要問い合わせ)		
社会情報学研究科	社会情報学専攻＊1 社会情報学コース ヒューマンイノベーションコース	○			○(実施時期は要問い合わせ)		

専門職大学院 入試情報一覧（2015年度実績）

		自己推薦･指定学部推薦入試				一般入試						大学院科目特別履修資格試験※1
		7月	10月	12月	2月	7月	9月	10月	12月	1月	2月	
国際マネジメント研究科	国際マネジメントサイエンス専攻＊3							○			○	
	国際マネジメント専攻＊4							○		○	○	
法務研究科	法務専攻＊4					○	○		○		○	○
会計プロフェッション研究科	会計プロフェッション専攻＊4	○	○	○	○			○				○

＊1　博士前期課程
＊2　修士課程
＊3　博士課程（5年一貫制）
＊4　専門職学位課程

※1　「大学院科目特別履修資格試験」に合格した者は、学部4年次で大学院科目を履修できます。
経済学研究科・経営学研究科では「先取り科目履修方式」もあります。

教務窓口について

キャンパス	担当窓口	事務取扱時間	
青山キャンパス	学務部　教務課 （17号館２階 スチューデントセンター）	（月～金） 9：00 ～ 11：30 12：30 ～ 19：00	（土） 9：00 ～ 11：30 14：00 ～ 19：00
	学務部　教職課程課 （17号館２階 スチューデントセンター）	（月・水・木） 9：00 ～ 11：30 12：30 ～ 17：00 （火・金） 9：00 ～ 11：30 12：30 ～ 19：00	（土） 9：00 ～ 11：30
相模原キャンパス	学務課 （Ｂ棟１階 スチューデントセンター）	（月～金） 9：00 ～ 11：30 12：30 ～ 17：00	（土） 9：00 ～ 11：30

＊上記の内容に変更が生じた場合は、「学生ポータル」で伝達いたします。

＊長期休業など、授業期間以外の事務取り扱いについては「学生ポータル」で伝達いたします。

窓口で取り扱う業務：

●履修・成績に関すること　●授業に関すること　●休学・退学などの学籍に関する願出

●教職課程（教員免許状）および各種資格（司書教諭・司書・学芸員・社会教育主事）取得に関すること

●証明書の交付

在学生の証明書は、④⑤⑥⑧を除き証明書自動発行機で交付します。

種類	交付方法	問い合わせ窓口		手数料 （１通につき）
		青山キャンパス	相模原キャンパス	
①在学証明書	自動発行機	教務課	学務課	和文　400 円 英文　400 円 ※卒業証明書は窓口発行
②成績証明書				
③卒業見込証明書				
④学力に関する証明書	窓口	教職課程課	学務課 教職課程担当	和文　400 円
⑤教員免許状取得見込証明書				和文　200 円
⑥各種資格取得見込証明書				
⑦健康診断証明書（和文）	自動発行機	保健管理センター		和文　200 円 英文　400 円 ※英文は申請１週間後に交付
⑧健康診断証明書（英文）	窓口			

－注意－　・自動発行機による証明書は、本学書式による証明です。

・提出先が定めた指定書式による証明が必要な場合は、別途各在籍キャンパスの証明書取扱窓口まで問い合わせてください。

・証明書用封筒は学務部教務課（青山キャンパス）・学務課（相模原キャンパス）又は、保健管理センター窓口でお渡しします。また、厳封が必要な場合は窓口に申し出てください。

・上記以外の証明書が必要な場合は窓口で相談してください。

＊電話など、窓口以外での受付には原則として応じません。

＊提出物は期限を厳守してください。締切後の取り扱いは一切行いません。

地の塩、世の光
The Salt of the Earth,The Light of the World
青山学院スクール・モットー

学生番号

氏　　名